SEKISUI

セキスイエコキュート

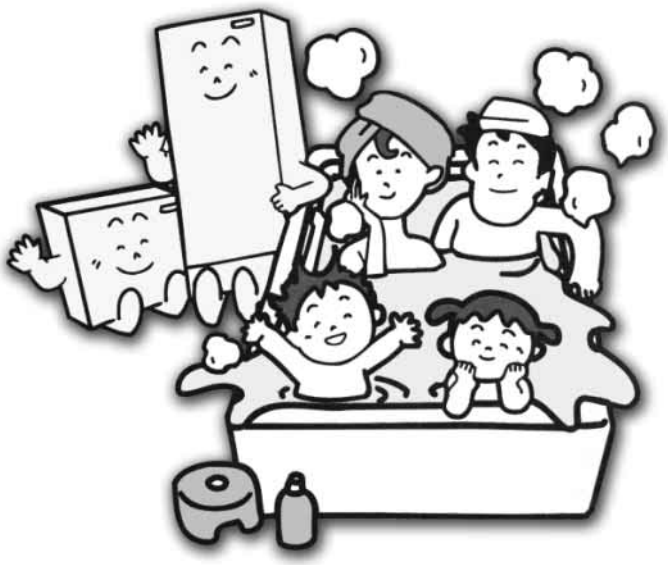
ユーリッチ®

自然冷媒CO_2ヒートポンプ式給湯機
一体型フルオートタイプ

取扱説明書

システム型式
CUF-SX18M91
一体型フルオートタイプ（一般地向け）

貯湯タンクユニット	CFT-SX18M91
ヒートポンプユニット	CFH-SX750A
台所リモコン	CFR-MTSX9AD
浴室リモコン	CFR-BTSX9AD



●このたびは、自然冷媒CO_2ヒートポンプ式給湯機をお買い上げいただきまことにありがとうございます。
●この取扱説明書には、使用上の注意事項を記載しております。正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ずお読みください。そのあとは、必要になったときにいつでもお読みになれるよう大切に保管してください。

もくじ

はじめに
ご使用前に ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
安全上のご注意 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
ご使用にあたってのお願い ・・・・・・・・・・・・・・・8
製品構成と各部のなまえ ・・・・・・・・・・・・・・・・9

準備
はじめてご使用になるとき ・・・・・・・・・・・・・・15
時刻合わせ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・17
電力契約の設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・18
運転モードについて（上手な使い方）・・・・・・・・・・19
運転モードの設定・確認 ・・・・・・・・・・・・・・・22
お湯がたりないとき（湯増し）・・・・・・・・・・・・・23

給湯とおふろの使い方
台所・洗面所でお湯を使う ・・・・・・・・・・・・・・25
浴室でお湯・シャワーを使う ・・・・・・・・・・・・・26
おふろの使い方 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・27
湯はりをする（ふろ自動運転）・・・・・・・・・・・・・28
ふろ温度の設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・32
ふろ湯量の設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・33
ふろ保温時間の設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・34
浴槽の湯温をあげる（追いだき）・・・・・・・・・・・・35
浴槽のお湯をふやす（たし湯）・・・・・・・・・・・・・37
浴槽の湯温をさげる（さし水）・・・・・・・・・・・・・38
湯はりの予約（ふろ予約）・・・・・・・・・・・・・・・39
通話をする ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・41
排水とふろ配管の洗浄（配管洗浄）・・・・・・・・・・・43

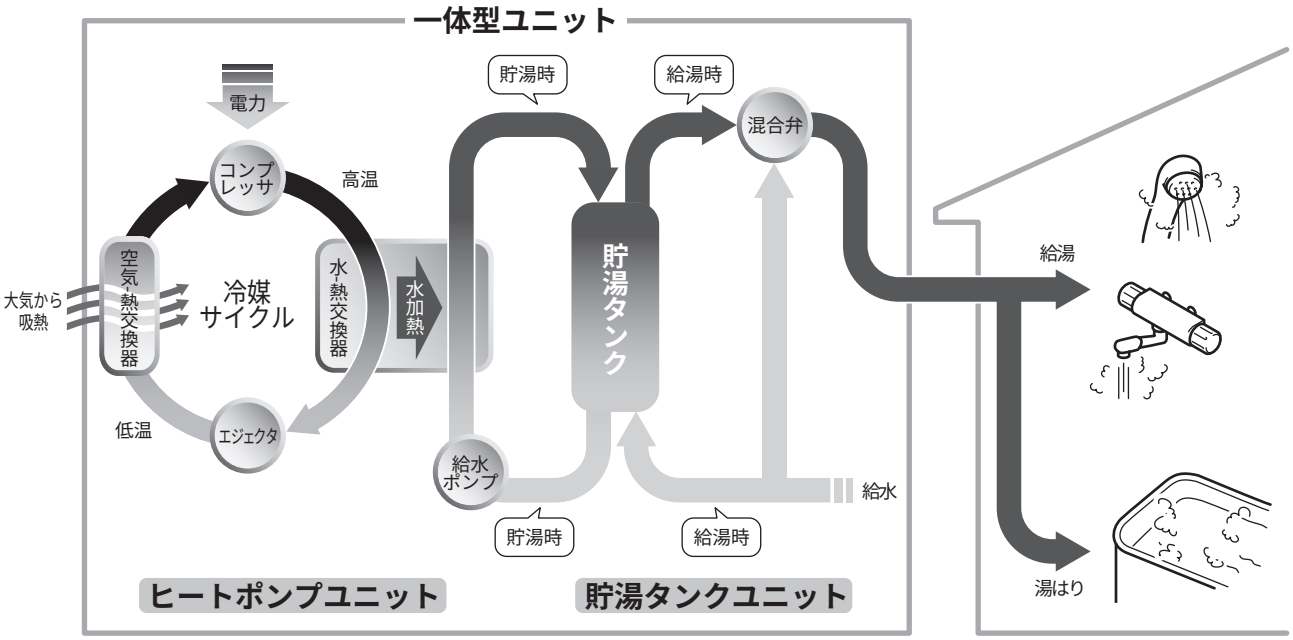
その他の使い方や設定
情報を見る（ナビモード）・・・・・・・・・・・・・・・44
タンク空表示について ・・・・・・・・・・・・・・・・46
リモコンの表示を消す（自動消灯設定）・・・・・・・・・47
オプション設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・48

このようなときは
冬期の凍結予防について ・・・・・・・・・・・・・・・51
夜までお湯を使用しないとき（エコ停止）・・・・・・・・53
数日間お湯を使用しないとき ・・・・・・・・・・・・・55
長期間お湯を使用しないとき ・・・・・・・・・・・・・57
非常用取水栓の使い方 ・・・・・・・・・・・・・・・・59
停電したときや断水・水道工事が行われるとき ・・・・60
定期点検（有料）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・61
お手入れと日常点検 ・・・・・・・・・・・・・・・・・62
故障かなと思ったら ・・・・・・・・・・・・・・・・・66
仕様 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・70
保証とアフターサービス ・・・・・・・・・・・・・・・71

ご使用前に

自然冷媒CO_2ヒートポンプ式給湯機とは

大気から熱を吸収し、その熱でお湯を沸かすヒートポンプ式の給湯機です。大気から熱を吸収した冷媒をコンプレッサで圧縮して高温にし、水-熱交換器で水に熱を伝えてお湯を沸かします。火を使わずクリーンで、高いエネルギー効率を得られます。しかも、大気の熱を水に伝える役目をする冷媒には、環境に配慮した自然冷媒（CO_2）を使用しています。



この給湯機の性能を最大限に発揮させ、経済的に運転するために**電力会社と時間帯別電灯契約を結んでいただく必要があります。**
ご使用になるお湯の量などに合わせて運転モードを設定することもできます。
また、貯湯タンクのお湯が少なくなった場合は、自動で湯増しを行いお湯を追加します。

電気料金の割引きについては、必ず、販売店または電力会社にご相談ください。

安全上のご注意

●ここに示した注意事項は、お使いになる方や他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示	表示の意味
⚠ 警告	“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（※1）を負うことが想定されること”を示します。
⚠ 注意	“取り扱いを誤った場合、使用者が傷害（※2）を負うことが想定されるか、または物的損害（※3）の発生が想定されること”を示します。

※1 重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

※2 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。

※3 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

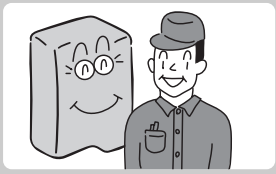
●本文中で使われる図記号の意味は次のとおりです。

図記号	図記号の意味	図記号	図記号の意味	図記号	図記号の意味
⃠	禁止指示に従う	⏚	アース工事実施		やけど注意
❗	指示に従う		分解禁止		

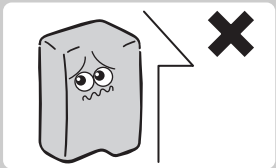
据付時・移設時・修理時のご注意

⚠ 警告

❗ **●据え付けは販売店または工事店に依頼する。**
ご自分で据付工事をされ不備があると、火災・感電・水漏れの原因になります。

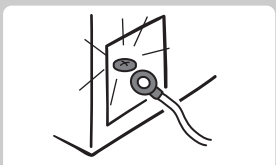


⃠ 禁止 **●屋内に設置しない。**
万一冷媒が漏れると、酸欠により死亡または重傷事故（脳機能障害等）に至ることがあります。

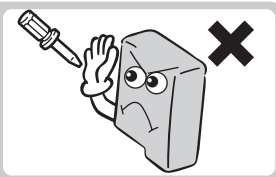


⃠ 禁止 **●可燃性ガスや引火物の近くに設置しない。**
発火や火災になることがあります。

⏚ アース工事 **●アース工事を確認する。**
アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。工事に不備があると、故障や漏電のとき感電の原因になります。



⃠ 禁止 **●ご自分での修理・改造や再設置は行わない。**
感電したり、異常動作してけがをすることがあります。



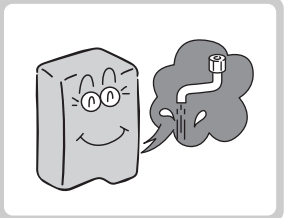
安全上のご注意

据付時・移設時・修理時のご注意

⚠ 注意

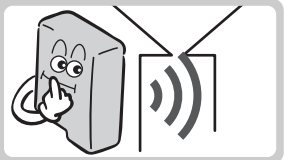
上水道

●水道水を使用する。（温泉水・井戸水は使用不可）
水道水を使用しないと、故障や水漏れの原因になります。
また、水道水であっても塩分、石灰分、その他不純物が多く含まれていたり、酸性水質の地域ではエコキュートの使用をお避けください。
水経路の詰まり、腐食等により不具合となる場合があります。



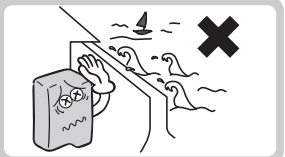
確認

●設置は隣家に配慮した場所を選ぶ。
運転音や振動が伝わりにくい場所、隣家の迷惑にならない場所をお選びください。



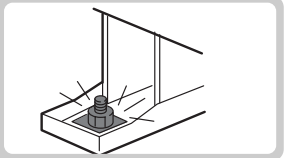
禁止

●塩害のおそれのある海岸付近や腐食性ガス発生のおそれのある温泉地等には設置しない。
機器故障の原因になります。



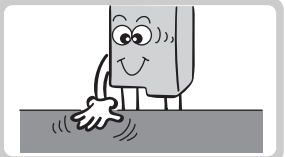
確認

●機器脚部がアンカーボルトで固定されているか確認する。
台風や地震のとき、機器が倒れてけがをすることがあります。



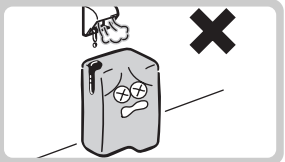
確認

●床面が防水・排水処理されているか確認する。
水漏れが起きたとき、大きな被害の原因になります。



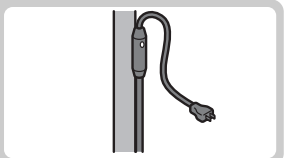
禁止

●キッチンの換気扇の近くには設置しない。
油分の付着や排気により、性能低下や機器故障の原因になります。



確認

●配管の凍結防止対策を確認する。
凍結すると機器が破損したり配管が破裂し、やけどや水漏れをすることがあります。

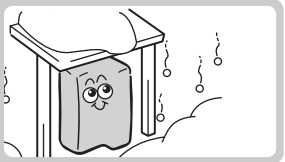


禁止

●冠水するところには設置しない。
冠水すると漏電や感電することがあります。

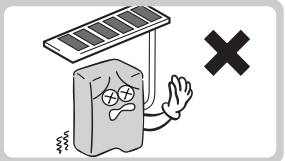
確認

●積雪地域では屋根などの防雪対策をする。
機器に積雪すると誤作動や故障の原因になります。



禁止

●太陽熱温水器には接続しない。
機器故障の原因や異常運転によりやけどをすることがあります。



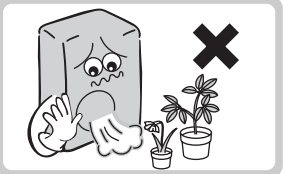
安全上のご注意

据付時・移設時・修理時のご注意

⚠ 注意

禁止

●動植物に直接風が当たる場所に設置しない。
動植物に悪影響をおよぼす原因になることがあります。



確認

●シャワー水栓は必ずサーモスタット付き湯水混合栓を使用する。
サーモスタット付き湯水混合栓を使用しないと、やけどの原因になります。

使用時のご注意

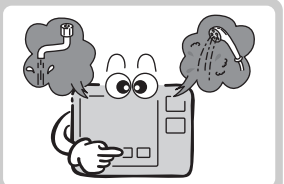
⚠ 警告

確認

●入浴するときやシャワー使用時は、湯温を確かめる。
●お湯を使う前には、湯温を確認する。
やけどをすることがあります。

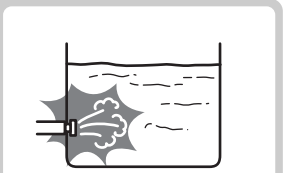
確認

●給湯温度を変更するときは、他の湯水混合栓の使用状況を確認する。
やけどをすることがあります。



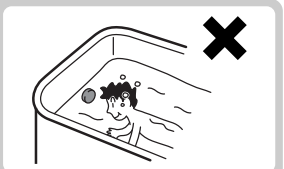
確認

●入浴するときは、浴槽循環口から離れる。
●浴槽にお湯がない場合は、追いだきスイッチを押さない。
やけどをすることがあります。
追いだきをするときや自動保温中または自動運転を終了したときに熱いお湯が出ます。



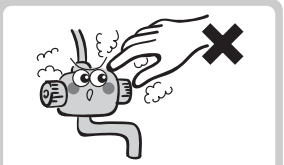
禁止

●子供の入浴に注意する。
浴槽循環口付近で、もぐらないでください。特に小さなお子様には注意してください。思わぬ事故の原因になります。



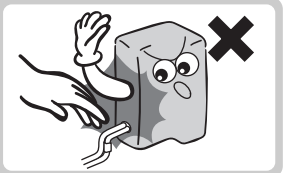
やけど注意

●給湯時は湯水混合栓本体に手を触れない。
やけどをすることがあります。



やけど注意

●ヒートポンプ配管および接続口には手を触れない。
やけどをすることがあります。



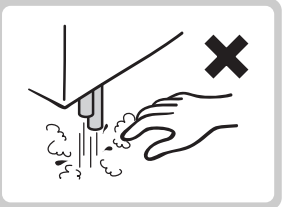
安全上のご注意

使用時のご注意

⚠警告

やけど注意

●排水時および取水時にはお湯や排水ホースに手を触れない。
●機器の内部配管には手を触れない。
やけどをすることがあります。

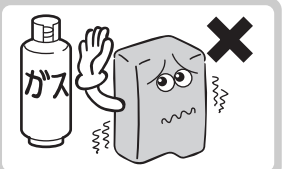


やけど注意

●逃し弁点検時は内部の配管に手を触れない。
やけどをすることがあります。

禁止

●近くに可燃性ガスや引火物を置かない。
発火や火災になることがあります。

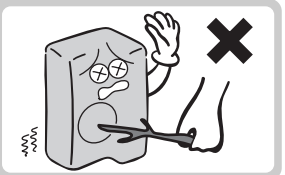


禁止

●熱交換器のフィンには触らない。
フィンでけがをすることがあります。

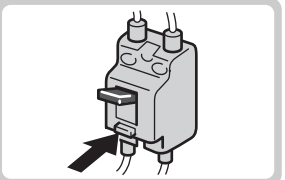
禁止

●空気吸込口・吹出口に棒や手を入れない。
内部でファンが回転していますので、けがをすることがあります。



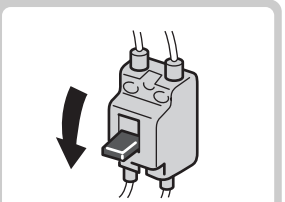
動作確認

●漏電ブレーカの動作を確認する。
故障のまま使用すると、感電することがあります。
●漏電ブレーカを操作するときは、ぬれた手で行わない。
感電することがあります。



確認

●異常時は漏電ブレーカの電源レバーを下げて電源を切る。
異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災の原因になります。
●漏電ブレーカを操作するときは、ぬれた手で行わない。
感電することがあります。

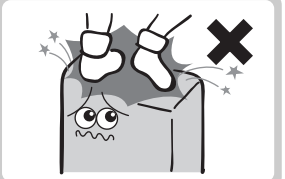


禁止

●取りはずす指定のないカバーは取りはずさない。
高温部によるやけどや感電することがあります。

禁止

●機器の上に乗ったり、配管に力を加えない。
機器が転倒したり、配管が破損して、死亡または重傷事故（大けが・大やけど等）に至ることがあります。特に幼児に注意してください。



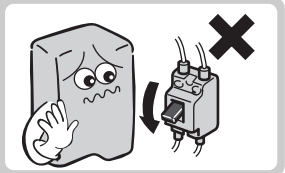
安全上のご注意

使用時のご注意

⚠ 注意

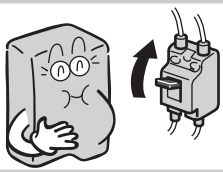
禁止

●電源を「OFF」にしない。
冬期は凍結して機器が破損することがあります。
電源を「OFF」にする場合は、機器から排水をしてください。



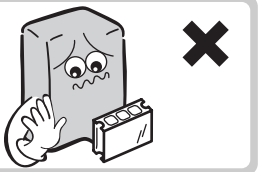
満水確認

●機器を満水にしてから電源を入れる。
満水にしないで電源を入れると故障の原因になります。



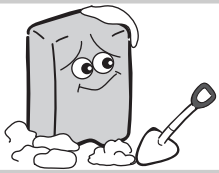
禁止

●機器の周囲に通風の妨げになるものを置かない。
通風が妨げられると性能低下や故障の原因になります。



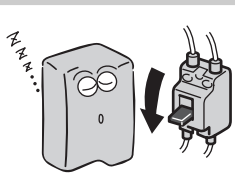
確認

●積雪時には除雪をする。
機器の周囲に積雪すると、誤作動や故障の原因になります。



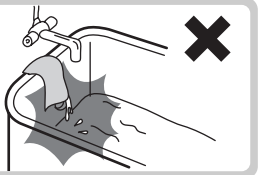
電源確認

●1ヵ月以上使用しないときは、電源を「OFF」にして機器から排水をする。
排水をしないと、水質が劣化することがあります。また冬期は凍結して機器が破損することがあります。



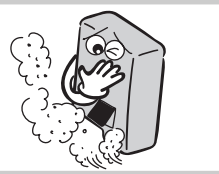
禁止

●浴槽循環口はふさがない。
ふさぐと誤作動や故障の原因になります。



カバーは閉

●操作カバーは閉じる。
開けておくと雨水やゴミが入り、漏電や感電することがあります。



安全上のご注意

使用時のご注意

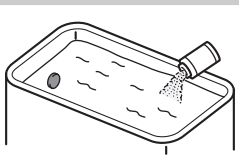
⚠ 注意

禁止

●硫黄・酸・アルカリを含んだ入浴剤や洗剤を使用しない。
本体や配管が故障し、水漏れすることがあります。入浴剤や洗剤を使用するときは、その注意書きにしたがってください。

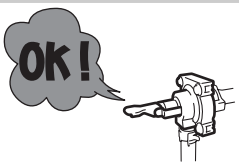
点検

●入浴剤は浴槽循環口からできるだけ離して入れる。
浴槽循環口近くに入れると、自動たし湯などが正常にできなくなることがあります。



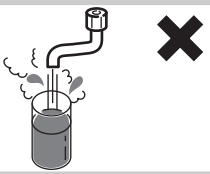
点検

●逃し弁の点検をする。
点検しないと機器や配管が破損したり、逃し弁から水漏れしたりすることがあります。



禁止

●そのまま飲用に用いない。
長期間のご使用により、タンク内に水アカがたまったり、配管材料の劣化により、水質が変わることがあります。飲用される場合は次の点に注意し、必ず一度やかんなどで沸騰させてからにしてください。
・必ず水道水を使用してください。
・熱いお湯が出てくるまでの水（配管内にたまっていた水）は、雑用水としてお使いください。
・固形物や変色・にごり・悪臭などがあった場合は、飲用には使用せずに、直ちに点検の依頼を行ってください。

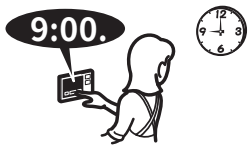


ご使用にあたってのお願い

お願い

●リモコンの時刻を確認する

リモコンの時刻がずれた場合は、台所リモコンで時刻を合わせなおしてください。
時刻がずれていると、貯湯タンク内のお湯を沸き上げるとき、ずれた分の時間は電気料金の高い昼間電力を使用するため、電気料金が割高になります。

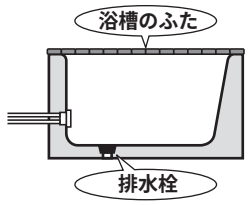


●お湯を上手に使う

使用するお湯の量が多いと、昼間に湯増し運転を行い電気代が高くなる場合があります。
流しっぱなしで使用せず、こまめに止めましょう。
・シャワーは止めながら（髪を洗っているときなどは止めましょう）
・洗いものをするときは止めながら

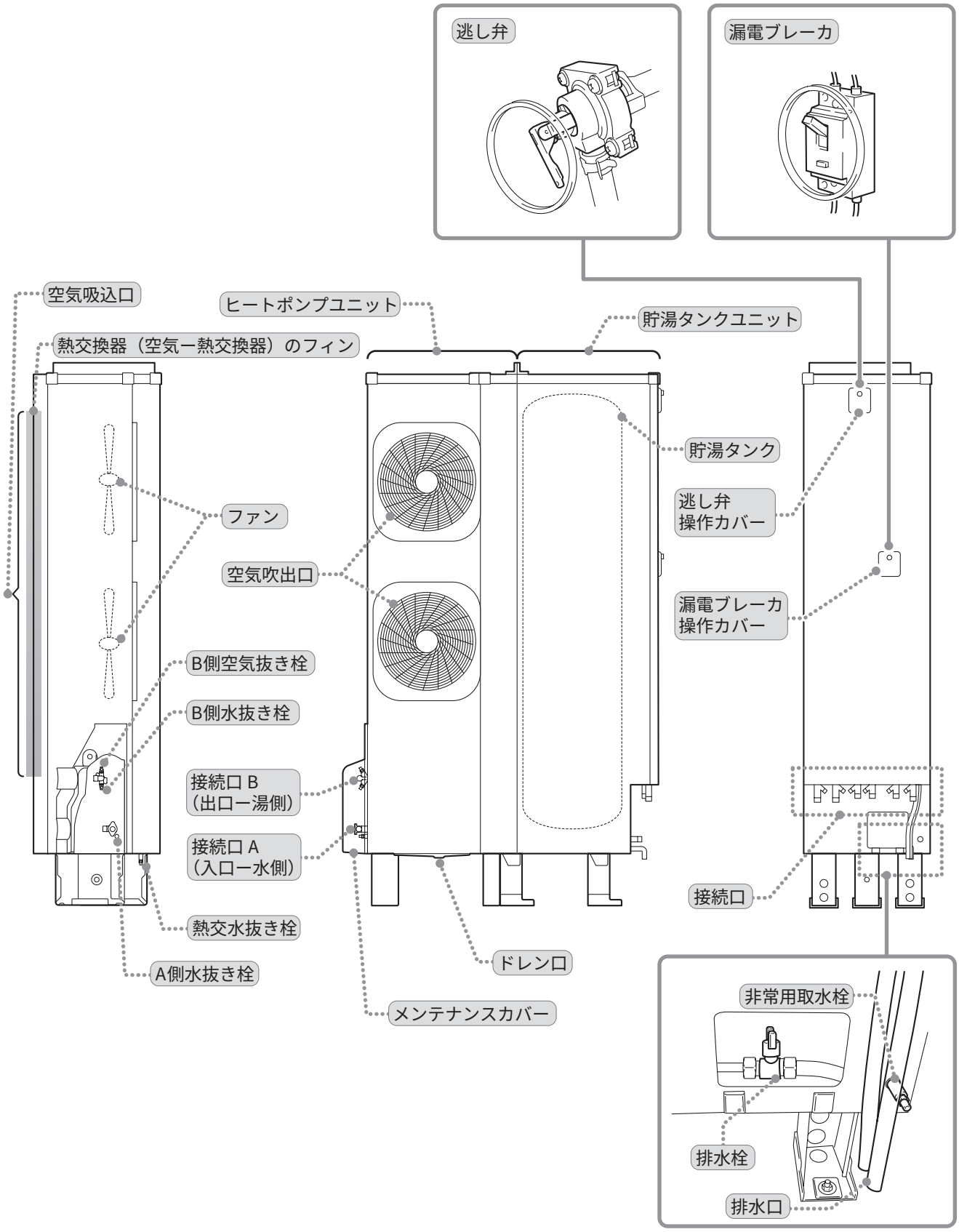
●湯はりをするときのお願い

湯はりをするときは次のことを確認してください。
・浴槽の排水栓を閉じる
・浴槽のふたをする（お湯を冷めにくくするため）



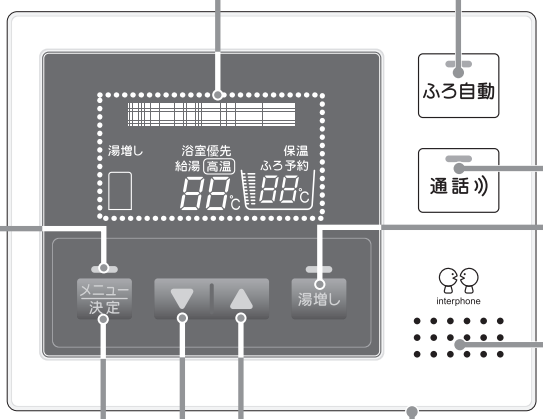
製品構成と各部のなまえ

一体型ユニット



製品構成と各部のなまえ

台所リモコン



表示部
・現在の状態などをお知らせします。（→11ページ）

ふろ自動スイッチ／ランプ
・設定された湯量・湯温で湯はりします。（→28ページ）

通話スイッチ／ランプ
・浴室リモコンと通話ができます。（→41ページ）

表示消灯ランプ
・表示部が消灯中に点灯します。（→47ページ）

湯増しスイッチ／ランプ
・貯湯タンクにお湯が満タンになるよう湯増しします。また、23時になると自動的に解除されます。（→23ページ）

マイク

スピーカー

▼／▲スイッチ
・給湯温度を変更します。（→25ページ）
・選んだ設定の内容を変更します。

メニュー／決定スイッチ
・設定したい項目を選びます。
1. **エコ停止**　（→53ページ）
   夜までお湯を使用しないとき、沸き上げを停止します。
2. **ふろ予約設定**　（→39ページ）
   ふろ予約の時間を設定します。
3. **ナビモード**　（→44ページ）
   「1週間使用量」
   「本日の使用量」
   「保温残り時間」
   「サービス店 TEL」の情報を表示します。
4. **運転モード設定**（→19、22ページ）
   運転モードを設定します。
5. **休止設定**　（→55ページ）
   数日間お湯を使用しないとき、沸き上げを停止します。
6. **現在時刻設定**　（→17ページ）
   現在時刻を設定します。
7. **自動消灯設定**　（→47ページ）
   表示の自動消灯／常時点灯の設定を行います。

・オプション設定（スイッチを3秒以上長押し）で設定したい項目を選びます。（→48ページ）
①TEL登録
②台所音量
③浴室音量
④台所輝度
⑤浴室輝度
⑥操作音
⑦通話時間
⑧フロ凍結予防

お願い

●台所リモコンに水をかけないでください。
防水タイプではありませんので、故障の原因になります。

製品構成と各部のなまえ

表示部（台所リモコン）

○表示部は説明のため全点灯状態にしてあります。
（ただし、現在時刻表示部は一部点灯状態です。）

浴室優先表示
・浴室リモコンに給湯温度変更の優先権があるときに表示します。

各種表示
・次の項目を表示します。
・メニュー項目
・運転モード
・ナビモード項目
・オプション設定項目
・休止日数
・通話中の状態

湯増し表示
・沸き上げ運転中に表示します。

タンク空表示
・貯湯タンク内のお湯が残り少なくなると点滅します。

給湯温度表示
・給湯の設定温度を表示します。

時刻表示
・現在時刻を表示します。

高温表示
・給湯設定温度が60℃のときに表示します。

保温表示
・ふろ保温中に表示します。

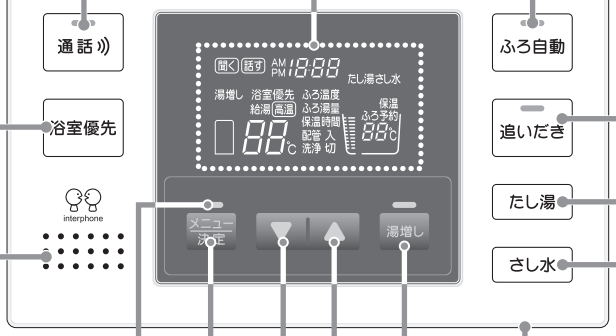
ふろ予約表示
・ふろ予約中に表示します。

ふろ温度表示
・ふろ設定温度を表示します。

ふろ湯量表示
・設定されたふろ湯量を表示します。
また、ふろ注湯中には順番に湯量表示バーが点滅します。

製品構成と各部のなまえ

浴室リモコン



表示部
・現在の状態などをお知らせします。（→13ページ）

通話スイッチ／ランプ
・台所リモコンと通話ができます。（→41ページ）

浴室優先スイッチ
・リモコンの優先権を切り替えます。（→26ページ）

スピーカー

表示消灯ランプ
・表示部が消灯中に点灯します。（→47ページ）

メニュー／決定スイッチ
・設定したい項目を選びます。
1. **ふろ温度設定**　（→32ページ）
   浴槽のふろ温度を設定します。
2. **ふろ湯量設定**　（→33ページ）
   浴槽のふろ湯量を設定します。
3. **保温時間設定**　（→34ページ）
   ふろ自動運転の継続時間を設定します。
4. **配管洗浄**　（→43ページ）
   ふろ配管に水を流し、配管を洗浄します。

▼／▲スイッチ
・給湯温度を変更します。（「浴室優先」点灯時）（→26ページ）
・ふろ温度を変更します。（「浴室優先」消灯時）（→32ページ）
・選んだ設定の内容を変更します。

ふろ自動スイッチ／ランプ
・設定された湯量・湯温で湯はりします。（→28ページ）

追いだきスイッチ／ランプ
・追いだきをしておふろの湯温を上げます。（→35ページ）

たし湯スイッチ
・おふろにお湯をたします。（→37ページ）

さし水スイッチ
・さし水をしておふろの温度を下げます。（→38ページ）

マイク

湯増しスイッチ／ランプ
・貯湯タンクにお湯が満タンになるよう湯増しします。また、23時になると自動的に解除されます。（→23ページ）

お願い

●浴室リモコンは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。
故障の原因になります。

製品構成と各部のなまえ

表示部（浴室リモコン）

○表示部は説明のため全点灯状態にしてあります。

時刻表示
・現在時刻を表示します。

たし湯表示
・たし湯中に表示します。

さし水表示
・さし水中に表示します。

保温表示
・ふろ保温中に表示します。

ふろ予約表示
・ふろ予約中に表示します。

ふろ温度 ふろ湯量 保温時間
・各設定値を表示します。

ふろ注湯表示
・ふろ注湯中に湯量表示バーが順番に点灯します。
・追いだき、配管洗浄中に点滅します。
・設定されたふろ湯量を表示します。

通話中状態表示
・通話中の状態を表示します。

浴室優先表示
・浴室リモコンに給湯温度変更の優先権があるときに表示します。

湯増し表示
・沸き上げ運転中に表示します。

高温表示
・給湯設定温度が60℃のときに表示します。

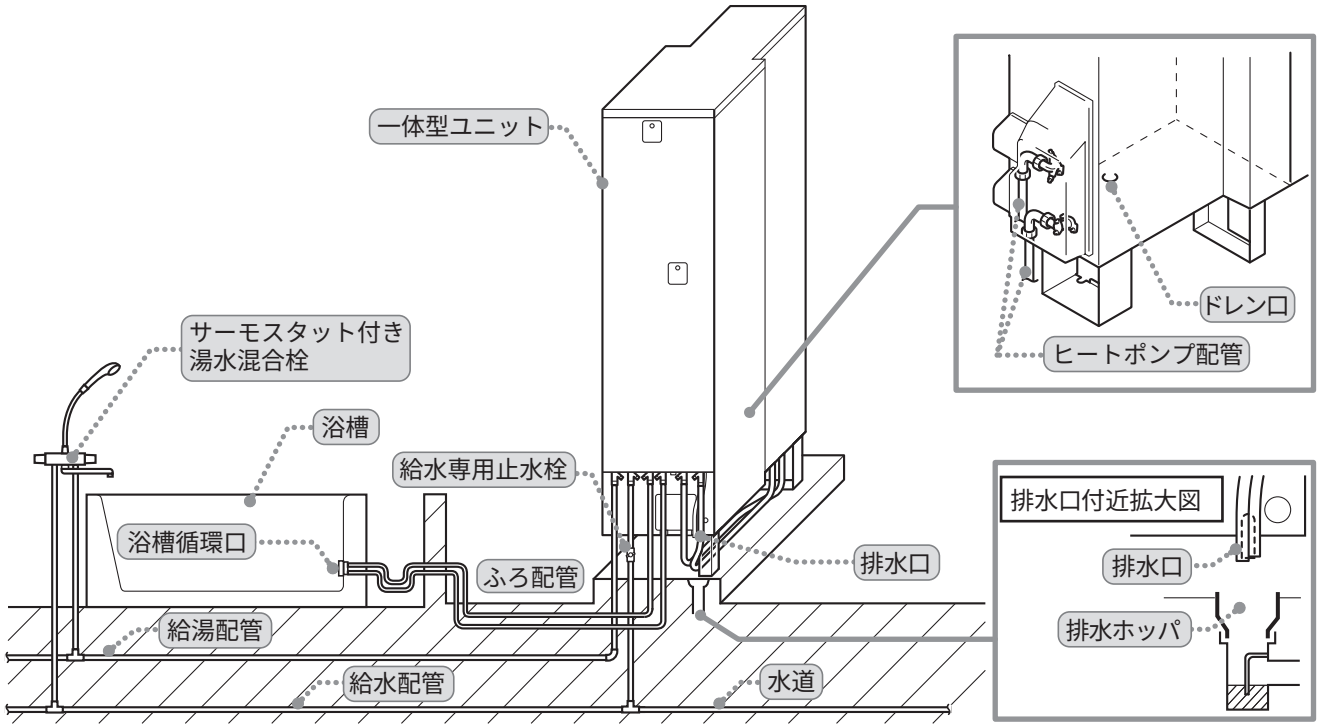
タンク空表示
・貯湯タンク内のお湯が残り少なくなると点滅します。

給湯温度表示
・給湯の設定温度を表示します。

メニュー表示
・各種メニューを表示します。

製品構成と各部のなまえ

接続配管例



お知らせ

- **沸き上げ運転中および沸き上げ停止後しばらくの間は、機器下部のドレン口から結露水が出ます。また、貯湯タンク内の水の温度が上昇したときの膨張分が、排水口から出ます。**
- **シングルレバー湯水混合栓および手元ストップシャワー、マッサージシャワーなどのシャワーヘッドを使用すると、出湯量が少なくなることがあります。**

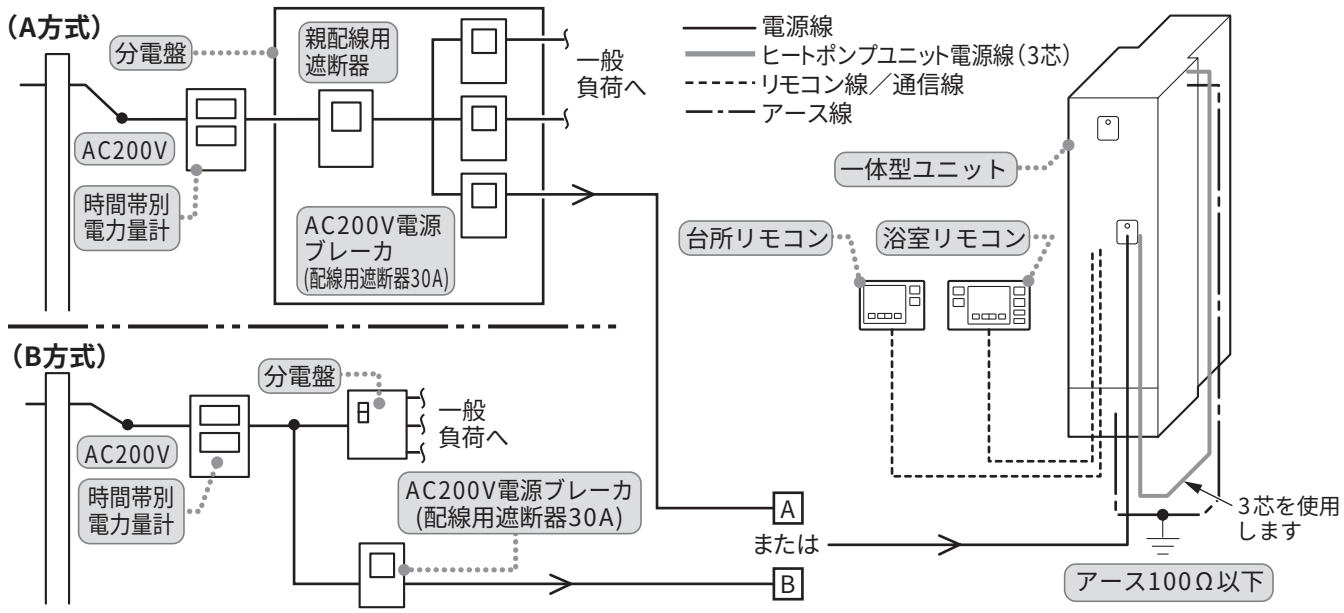
お願い

- **水栓は湯水混合栓を使用してください。またシャワー用はやけど防止のため、サーモスタット付き湯水混合栓を使用してください。**
- **水栓は逆止弁付き湯水混合栓を使用してください。逆止弁の付いていない混合栓を使用した場合は、逃し弁よりお湯が排水される場合があります。**

接続配線例

（時間帯別電灯契約または季節別時間帯別電灯契約専用）

●引込み配線方式（A方式、B方式）を確認していただき、これに合わせた配線工事を行ってください。



はじめてご使用になるとき

●はじめてご使用になるときには、機器を満水にし、電源を入れます。
また、台所リモコンで時刻を合わせ、各種設定をしてください。

⚠警告

●漏電ブレーカを操作するときは、ぬれた手で行わない。
感電することがあります。

⚠注意

●機器を満水にしてから電源を入れる。
満水にしないで電源を入れると故障の原因になります。

●操作カバーは閉じる。
開けておくと雨水やゴミが入り、漏電や感電することがあります。

準備

貯湯タンクユニット

① 給水専用止水栓を開く。

② 逃し弁のレバーを上げる。

（1）逃し弁操作カバーをはずし、逃し弁のレバーを上げ、給水します。

- 排水口から水が出てきたら満水です。ただし、給水専用止水栓が開いていて、逃し弁のレバーを上げ排水口からすぐに水が出てきたら、すでに満水状態です。
- 空の状態から満水までの目安は20分です。

③ 満水になったら、逃し弁のレバーを下げる。

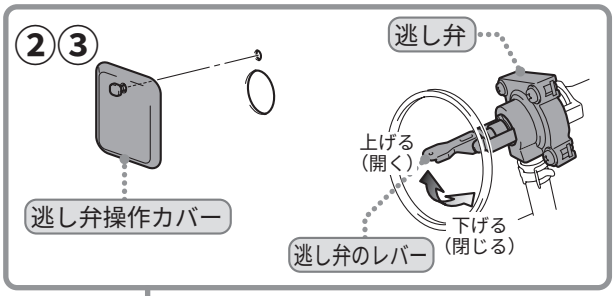
（1）満水になったら逃し弁のレバーを下げ、逃し弁操作カバーを元どおりに取り付けます。

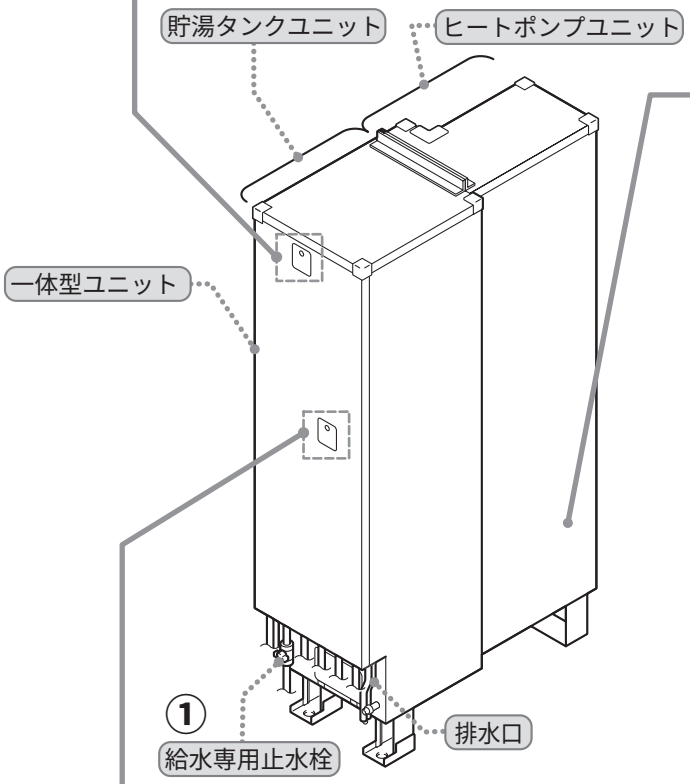
ヒートポンプユニット

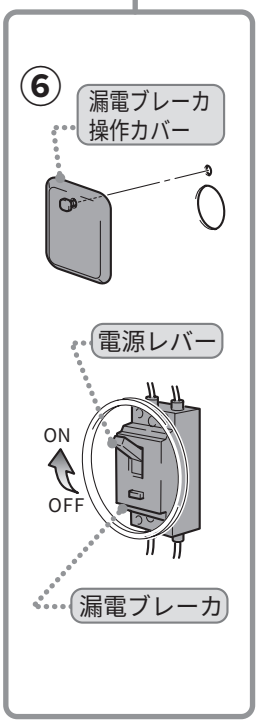
④ メンテナンスカバーをはずす。

（1）メンテナンスカバーを止めているネジをはずし、上方へスライドさせ、ツメ（3ヵ所）をはずしてメンテナンスカバーをはずします。

- 必要以上にスライドさせるとツメ部が破損するおそれがありますので、注意してはずしてください。







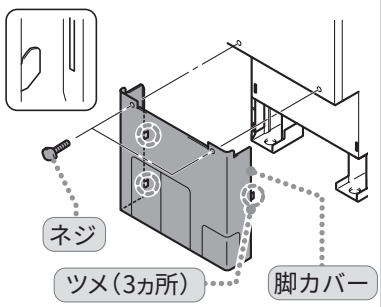
別売品の脚カバーや配管カバーを装着している場合は、カバーをはずしてください。

●カバーの端面で手を切らないよう注意してください。

【はずし方】

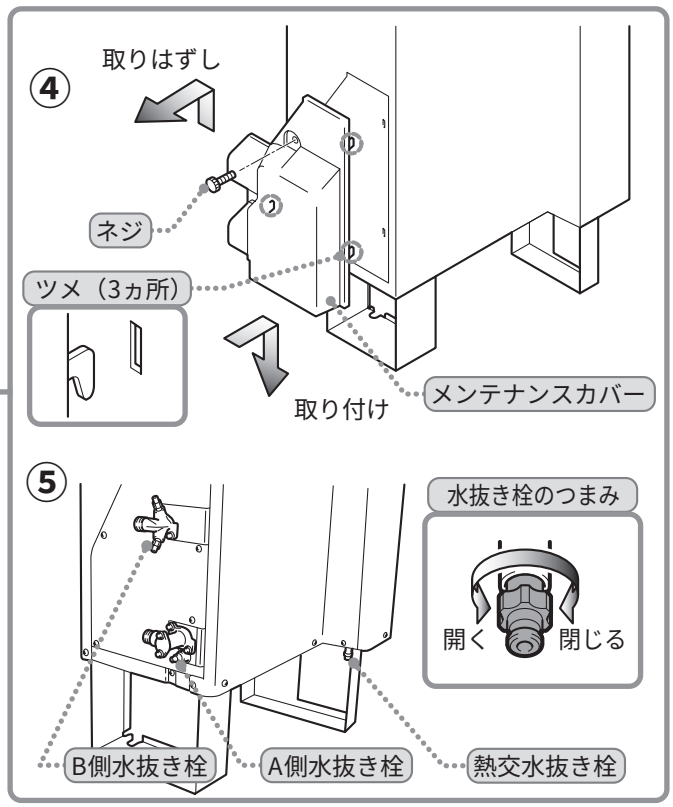
（1）ネジ2本をはずす。

（2）カバーを下方へずらしてツメ(脚カバーは3ヵ所、配管カバーは2ヵ所)をはずし、手前に引く。



・図は脚カバーです。

はじめてご使用になるとき



⑤ 水抜き栓を開き、エア抜きをする。

（1）熱交水抜き栓を開きます。2分以上十分にエアが抜けるまで行ってください。
（2）A側およびB側の水抜き栓を開きます。十分なエア抜きを行ってください。
（3）水抜き栓（A側、熱交、B側）を閉じます。
（4）メンテナンスカバーを元どおり取り付けます。

設定する

⑥ 漏電ブレーカを「ON」にする。

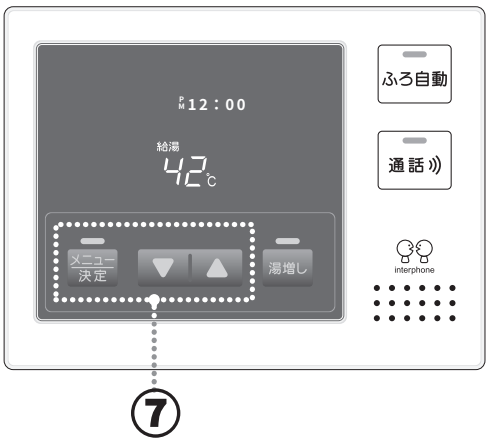
（1）AC200V電源ブレーカを「入」にします。
（2）漏電ブレーカ操作カバーをはずし、漏電ブレーカの電源レバーを「ON」にします。
（3）漏電ブレーカ操作カバーを元どおり取り付けます。

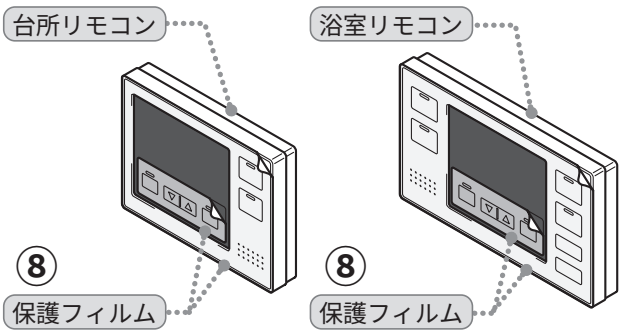
⑦ 時刻合わせをする。（→17ページ）

（1）「時刻を合わせてください」と音声でお知らせし、「－－：－－」を表示します。
（2）「6 現在時刻設定」が表示されるまで メニュー 決定 を数回押します。
（3） ▼ または ▲ で現在時刻を合わせます。押し続けると連続して替わります。
（4） メニュー 決定 を押します。

●「設定されました」と音声と表示でお知らせします。
●時刻合わせが完了すると、自動でヒートポンプ配管のエア抜き運転を開始します。「HPエア抜き中」を表示します。エア抜き運転は約10分で終了します。
●エア抜き運転が終了すると、ヒートポンプユニットが運転をはじめ「湯増し」と表示し、湯増しを行います。

■台所リモコン





お知らせ

・お使いになるお湯の量や湯切れの備えなど、ふだんのご使用方法に合わせて設定を選択することができます。

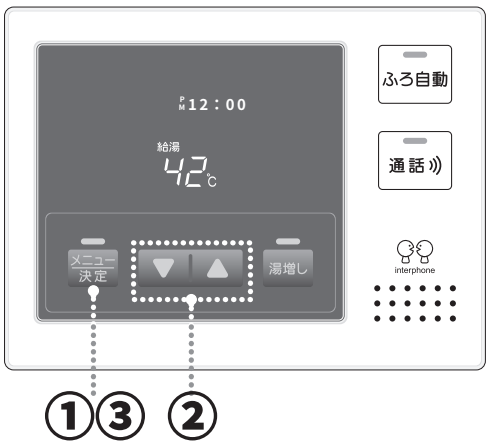
「電力契約の設定」（→18ページ）
「運転モードの設定」（→19、22ページ）

⑧ リモコンの保護フィルムを必要に応じてはがす。

時刻合わせ

●時刻がずれているときやリセットされているときは、時刻合わせをしてください。
●必ず現在時刻の設定をしてください。設定しないとお湯を沸かすことができません。
●時刻は12時間表示で、午前は「AM」、午後は「PM」で表示します。
●台所リモコンから設定を行います。

■台所リモコン



お知らせ

・はじめてお使いになるときや、長時間停電があったときや電源を「切」にしていたときは、①から設定してください。
（時刻表示点滅画面になります。）

準備

①「6 現在時刻設定」が表示されるまで メニュー 決定 を数回押す。

●「6 現在時刻設定」が表示され「時刻を合わせてください」と音声でお知らせし、その後「時・分」が点滅します。

② ▼ または ▲ で現在時刻を合わせる。

● ▲ を押すと1分ずつ進みます。

● ▼ を押すと1分ずつ戻ります。

●押し続けると10分ずつ替わります。

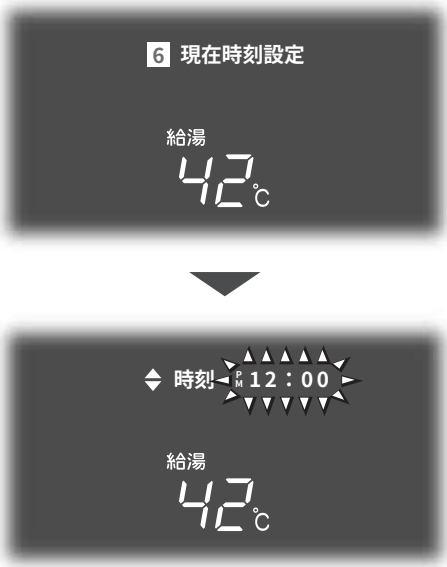
③ メニュー 決定 を押す。

●「設定されました」と音声と表示でお知らせします。

●浴室リモコンにも設定した現在時刻を自動的に表示します。

● メニュー 決定 を押さずに1分以上経過すると、設定は決定されず、通常表示に戻ります。

■台所リモコン表示部



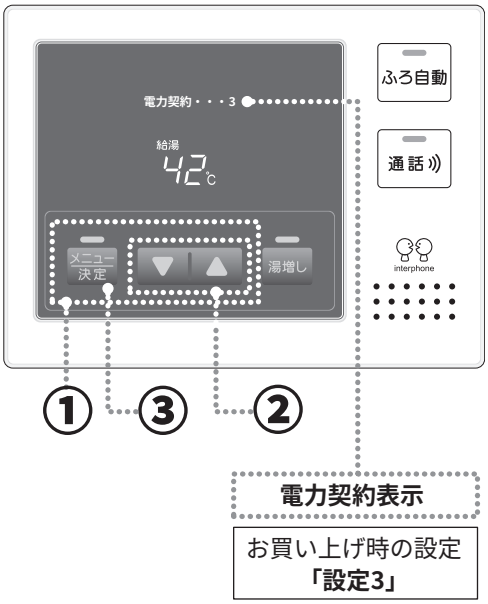
お知らせ

・時刻は、ずれることがあります。時々確認して、時刻を設定しなおしてください。時刻がずれていたり、午前「AM」と午後「PM」を間違えると、電気料金が高くなってしまいますので、正確に設定してください。
・昼の12時は「PM12:00」、夜の12時は「AM12:00」と表示します。
・長時間の停電があったときや、長時間電源を「切」にしていたときは、電源投入時に時刻合わせ表示になりますので、必ず時刻を合わせてください。時刻合わせ終了後、自動でヒートポンプのエア抜き運転を開始します。

電力契約の設定

●時間帯別電灯契約の種類によって深夜時間帯および安価な時間帯が異なります。電力料金を抑えるため、ご契約に合う電力契約を選択します。
●台所リモコンから設定を行います。
●お買い上げ時の設定は、「3」です。

■台所リモコン



① メニュー決定 と ▲ を同時に5秒以上押す。

●時間表示が電力契約に切り替わり、現在の設定が点滅します。

■台所リモコン表示部

② ▼ または ▲ を押して、電力契約の番号を切り替える。

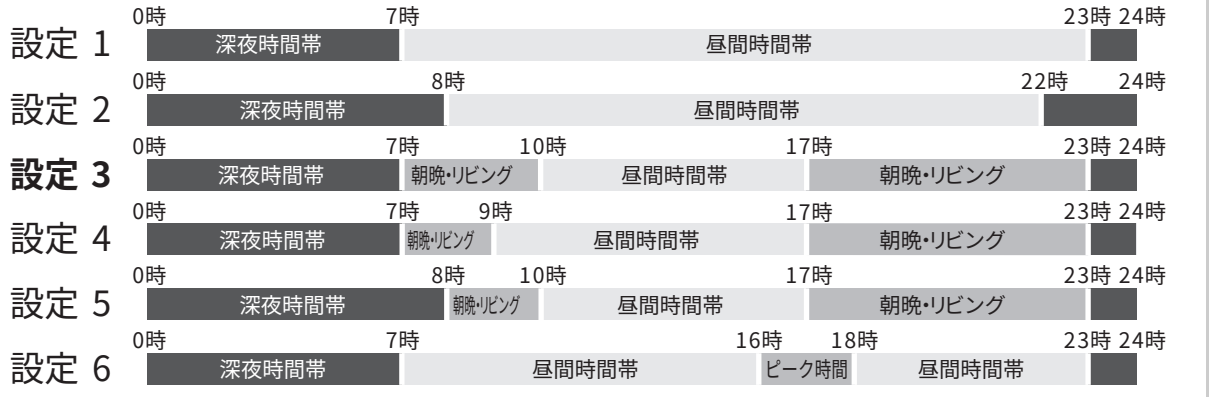
設定範囲（No.）	1	2	3	4	5	6	7	8	9

③ メニュー決定 を押す。

●「設定されました」と音声と表示でお知らせします。
● メニュー決定 を押さずに20秒以上経過すると、設定は決定されず、通常表示に戻ります。

電力契約の内容

電力契約の内容は、次のようになっています。地域の電力会社によっては異なりますので、詳しくはお買い上げの販売店または最寄りの当社営業所にお問い合わせください。



・お買い上げ時は「設定3」です。設定7～9は設定3と同じ内容になります。

運転モードについて（上手な使い方）

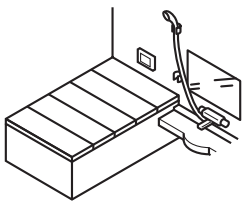
●運転モードは、ヒートポンプで沸き上げる温度（湯増し温度）と沸き上げタイミングを決定するモードです。日頃お使いになるお湯の量にあわせて「控えめ」「中」「多め」から選択できます。
●お買い上げ時は、省エネモードの「控えめ」になっています。

省エネで上手にお湯を使うポイント

この給湯機は、コンパクトな貯湯タンクを内蔵しており、必要なときに必要な量のお湯を自動で沸き上げます（湯増し）。使い方を工夫することにより、より省エネに使うことができます。

上手にお湯を使う

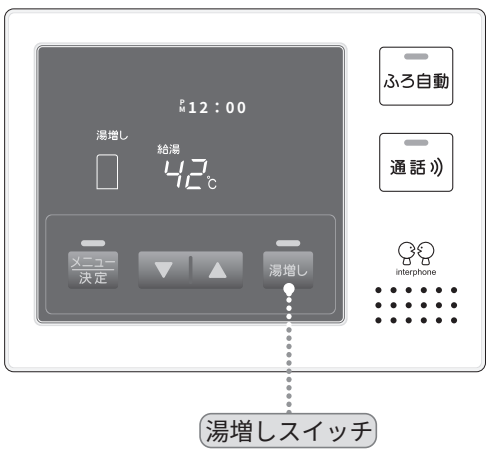
●シャワーやキッチンでの洗いものは、こまめにお湯を止めながらお使いください。
●湯はりをするときや入浴していないときは、おふろにふたをしてください。
●おふろは、前日の残り湯を沸かしなおすよりも、新たに湯はりするほうが省エネです。
●おふろがぬるくなったときは、追いだきよりも高温さし湯のほうが省エネです。
（運転モードが「控えめ」の場合、 追いだき を押すと高温さし湯となり、それ以外の運転モードでは追いだきとなります。）



お湯がたりなくなりそうなときは

●来客などでたくさんのお湯が必要なときは、「湯増し」をしてください。
お湯が減ってきたらその都度沸き上げます。詳しくは、「お湯がたりないとき（湯増し）」（→23ページ）を参照してください。
●お湯がたりなくなった場合は、お湯が沸くまでしばらくお待ちください。
お湯を短時間にたくさんお使いになったときなど、タンク内のお湯が残り少なくなりタンク空表示が点滅することがあります。また、湯はりや追いだき時には、お湯が沸くまでの間、一旦動作を停止します。（→46ページ）
まれに寒いとき（氷点下）には停止回数が増えたり、湯増し時間が長くなる場合があります。
●ひんぱんにお湯がたりなくなるときには、運転モードを変更してください。

■台所リモコン



お知らせ

・1時間のタンク湯増しで、約40℃のお湯を約250L（冬）～370L（夏）作ることができます。
・お湯の使用量の目安は、おふろ：約200L／回、シャワー：約10L／分です。

運転モードについて（上手な使い方）

運転モードの選択

運転モード	特徴
控えめ	**おすすめの省エネモード：お買い上げ時の運転モードです** 沸き上げ温度（湯増し温度）を低く抑えて効率のよいヒートポンプの運転を行うモードです。 ・昼間でも必要に応じて、自動で湯増し運転をします。 ・浴槽の湯温を上げるために 追いだき を押すと、約60℃、20Lのお湯を浴槽循環口からさし湯（高温さし湯）します。 ・ふろ自動運転のとき、湯はり後の自動保温・自動たし湯はしません。 ・お湯がたりなくなりそうなときは、湯増し を押して、湯増しをすることができます。 （→23ページ） こんなときは 頻繁に湯増しを押して必要な湯量を確保しなければならないとき ▶▶ 運転モードを「中」または「多め」に切り替えてください。
中	**「控えめ」モードではお湯がたりない場合** 日常のお湯の使用量から、沸き上げ温度を自動で決定するモードです。 ・昼間でも必要に応じて、自動で湯増し運転をします。 ・浴槽の湯温を上げるために 追いだき を押すと、お湯を循環してあつくします。 ・ふろ自動運転のとき、湯はり後の自動保温・自動たし湯をします。 ・お湯がたりなくなりそうなときは、湯増し を押して、湯増しをすることができます。 （→23ページ） こんなときは リモコンの1週間の使用量表示が「最大500L／日」を越えないとき ▶▶ 運転モードを「控えめ」に切り替えてください。
多め	**「中」モードでもお湯がたりない場合** 日常のお湯の使用量が多い場合のモードです。 ・昼間でも必要に応じて、自動で湯増し運転をします。 ・浴槽の湯温を上げるために 追いだき を押すと、お湯を循環してあつくします。 ・ふろ自動運転のとき、湯はり後の自動保温・自動たし湯をします。 ・お湯がたりなくなりそうなときは、湯増し を押して、湯増しをすることができます。 （→23ページ） こんなときは リモコンの1週間の使用量表示が「最大500L／日」を越えないとき ▶▶ 運転モードを「控えめ」に切り替えてください。

運転モードの切り替え方法は、運転モードの設定（→22ページ）を参照してください。

運転モードについて（上手な使い方）

運転モード別の機能

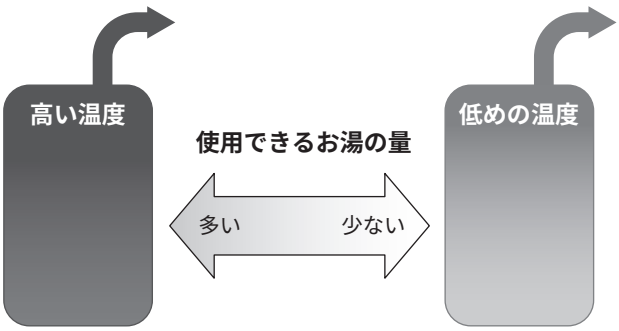
運転モード	湯はり後のふろ自動運転（自動保温・自動たし湯）（→ 28 ページ）	追いだき を押したときの動作（→ 35 ページ）	浴槽の残り湯が、浴槽循環口より上にある場合のふろ自動運転（→ 30 ページ）	リモコンの自動消灯時間（→ 47 ページ）
控えめ	行いません	浴槽循環口から20Lの高温さし湯を行います	行いません	30 秒
中	行います	追いだきを行います	行います	30 分
多め				

湯増し温度について

湯増し温度と使用できるお湯の量

貯湯タンクの容量が一定のため、湯増し温度（沸き上げ温度）を変えることで使用できるお湯の量が変わります。高い温度でお湯を沸き上げることで使えるお湯の量は多くなります。逆に、使用するお湯の量が少なければ、低めの温度でお湯を沸き上げ、無駄をなくすことができます。

● お使いになるお湯の量に合わせて運転モードを設定することができます。



湯増し温度と貯湯温度についてのお知らせ

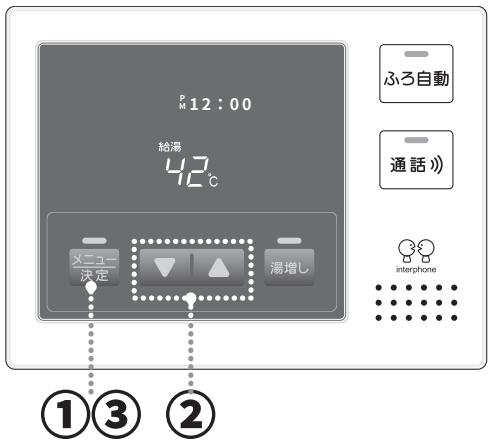
● 配管による温度低下について
湯増し温度はヒートポンプで沸き上げるお湯の温度です。
貯湯タンクにたまるお湯の温度は途中の配管の放熱ロスにより、設定した湯増し温度より低くなります。
（外気温度・配管条件にもよりますが、設定した湯増し温度より5℃前後低い温度で貯湯タンクにたまります。）

● 時間経過による温度低下について
貯湯タンク内のお湯の温度は、時間の経過と共に放熱により低下します。
（外気温度・風の影響にもよりますが、朝から夕方（半日）までの間に約5℃～10℃程度低下します。）

運転モードの設定・確認

●お使いになるお湯の量に合わせて、運転モードを設定することができます。
●台所リモコンから設定を行うことができます。
●お買い上げ時の設定は、省エネモードの「控えめ」です。

■台所リモコン



①「4 運転モード」が表示されるまで メニュー決定 を数回押す。

●「4 運転モード」を表示した後、現在設定されている運転モードが点滅します。

②設定を変える場合は、▼ または ▲ を押して、運転モードを切り替える。

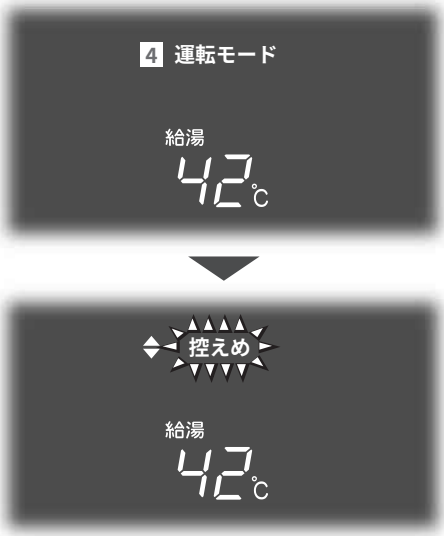
●運転モードを確認後、そのままのモードで終了する場合は、③に進んでください。

③ メニュー決定 を押す。

●「設定されました」と音声と表示でお知らせします。

● メニュー決定 を押さずに20秒以上経過すると、設定は決定されず、通常表示に戻ります。

■台所リモコン表示部



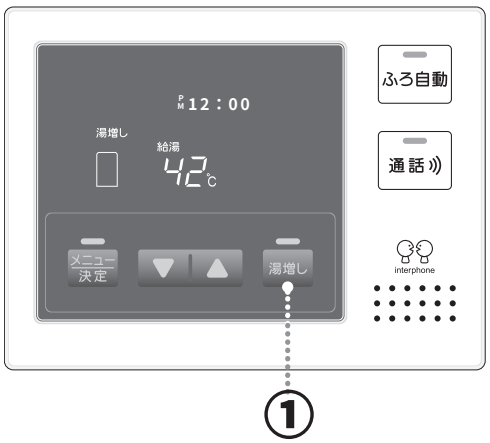
お知らせ

・設置日から1週間ほどは、マイコン学習期間のためその後の動作とは一部異なる場合があります。
・次のときは運転モードの設定はできません。
時刻未設定時、休止中、エコ停止中、湯増し中。

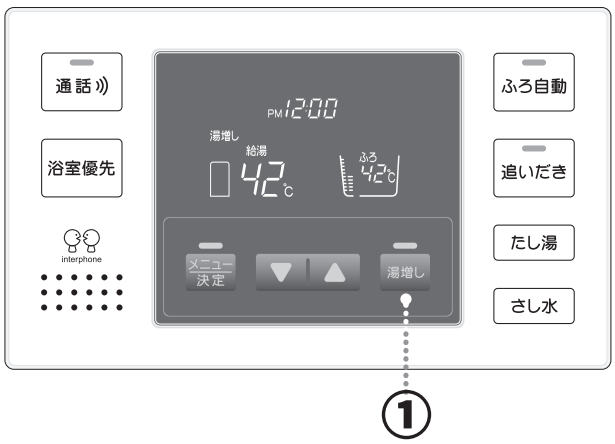
お湯がたりないとき（湯増し）

●来客などでたくさんお湯が必要なときは、「湯増し」を使用して貯湯タンクのお湯を湯増しします。
●台所リモコンと浴室リモコンのいずれからも湯増しを行うことができます。

■台所リモコン



■浴室リモコン

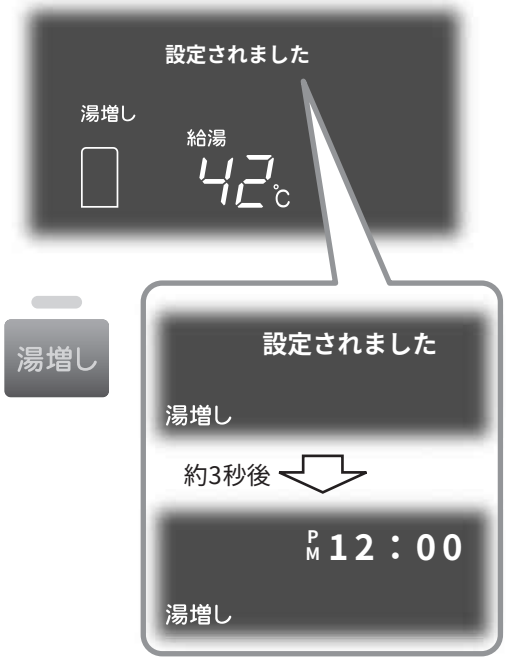


準備

① 湯増し を押す。

●湯増しモードに入り、「設定されました」と音声と表示でお知らせし、ランプが点灯します。
●浴室リモコン側では音声案内とランプは点灯しますが、表示はしません。

■台所リモコン表示部



湯増しを途中でやめるとき

湯増し を押す。

●「湯増し」の表示が消え、ランプが消灯します。

お知らせ

- 湯増しを使用すると、昼間電力でお湯の湯増しを行うため電力料金が割高になることがあります。
- 湯増しを使用しているときは、運転モードの設定はできません。
- 湯増しを使用しているときは、運転音や振動が大きくなる場合があります。
- 休止中は湯増しできません。休止設定を解除してから湯増しを行ってください。

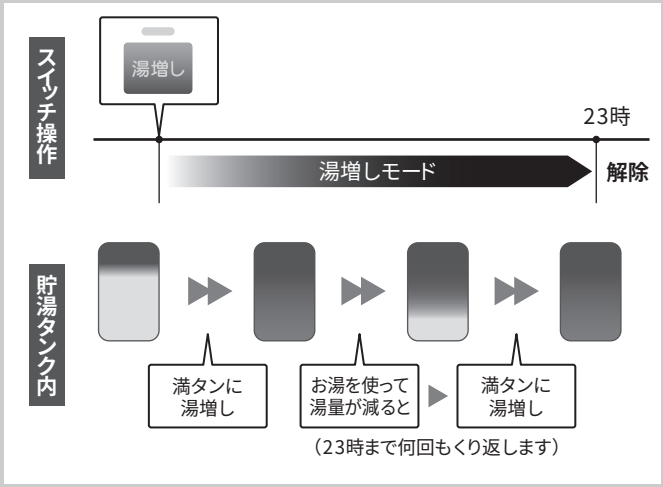
お湯がたりないとき（湯増し）

湯増しの動作

● 湯増し を押すと、湯増しモードになり満タンになるよう、湯増しします。
※ 湯増しモード中は、湯増しスイッチのランプが点灯します。

●湯増しモードの間は、給湯などである程度お湯を使用すると、満タンまで湯増しします。

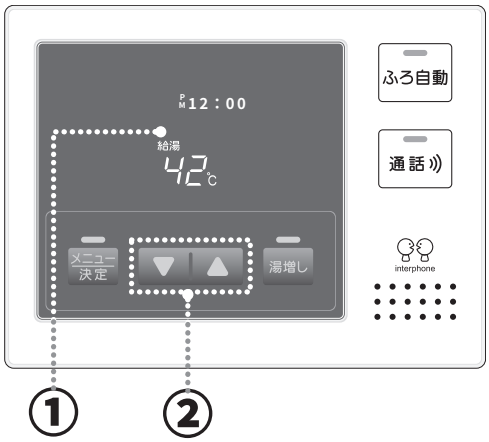
●湯増しモードは、再度 湯増し を押すか23時になると解除されます。解除されるまでは湯増しスイッチのランプは点灯しています。



台所・洗面所でお湯を使う

●台所・洗面所などの給湯温度をお好みの温度に設定します。
●台所リモコンから設定を行うことができます。
●お買い上げ時の設定は、42℃です。

■台所リモコン



⚠警告

- **給湯温度を変更するときは、他の湯水混合栓の使用状況を確認する。**
  やけどをすることがあります。
- **お湯を使う前には、湯温を確認する。**
  やけどをすることがあります。

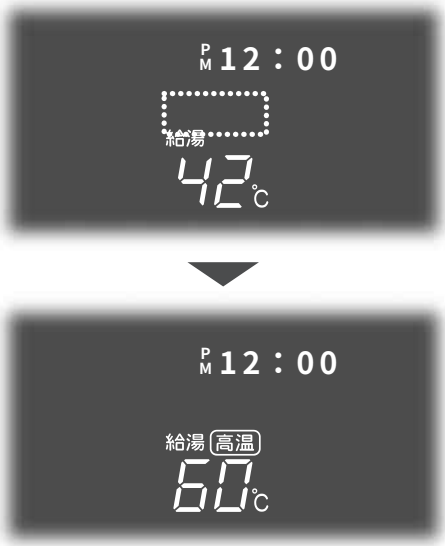
①「浴室優先」が消灯していることを確認する。

- 「浴室優先」が点灯しているときは、浴室リモコンの 浴室優先 を押してください。操作するリモコンの優先権が変更できます。(→26ページ)
- 優先権のないリモコンで操作した場合は、警告音が鳴り、操作は受け付けません。

② ▼ または ▲ を押して、給湯温度を設定する。

- 給湯温度を変更すると「給湯温度が変更されました」と音声でお知らせします。
- 60℃に設定した場合は、「あついお湯がでます」と音声でお知らせし、「高温」と表示して注意を促します。

■台所リモコン表示部



																		高温
設定範囲（℃）	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	60

③ 湯水混合栓を開いてお湯を出す。

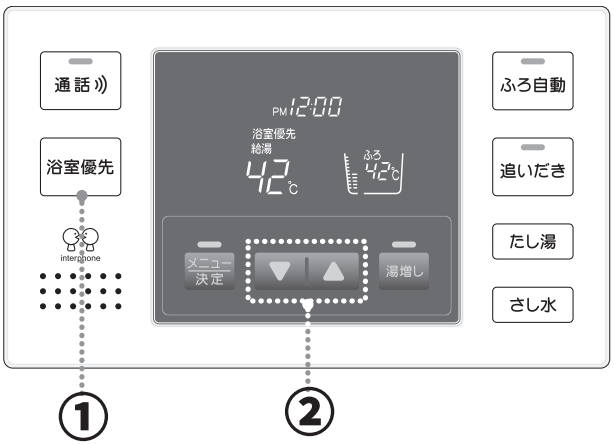
お知らせ

- **サーモスタット付き湯水混合栓の場合は、給湯温度の設定を、使用される温度より約5～10℃高く設定されることをおすすめします。高く設定していない場合、湯水混合栓で設定した湯温にならないことがあります。**
- **給湯温度は季節や配管の温度状態により異なります。リモコンの温度設定は目安としてお使いください。**
- **リモコンの優先権を変更しても、給湯温度は変わりません。**
- **給湯開始後しばらくの間は、配管内の冷めた水が出ます。**
- **給湯を一旦停止して、再度給湯を開始した場合、少しの間、給湯温度が変動することがあります。**
- **湯水混合栓を絞り、湯量が減るとお湯がぬるくなることがあります。**

浴室でお湯・シャワーを使う

●浴室・シャワーなどの給湯温度をお好みの温度に設定します。
●浴室リモコンから設定を行うことができます。
●お買い上げ時の設定は、42℃です。

■浴室リモコン



⚠警告

- **給湯温度を変更するときは、他の湯水混合栓の使用状況を確認する。**
  やけどをすることがあります。
- **お湯を使う前には、湯温を確認する。**
  やけどをすることがあります。

① 浴室優先 を押す。

●浴室優先にした場合は、「浴室優先に変更されました」と音声でお知らせし、「浴室優先」が表示されます。

浴室優先	点灯時	浴室リモコンで温度設定ができます。
	消灯時	台所リモコンで温度設定ができます。

② ▼ または ▲ を押して、給湯温度を設定する。

●給湯温度を変更すると「給湯温度が変更されました」と音声でお知らせします。
●60℃に設定した場合は、「あついお湯がでます」と音声でお知らせし、「高温」と表示して注意を促します。

■浴室リモコン表示部

設定範囲（℃）	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	60（高温）

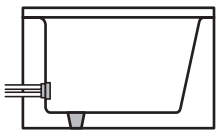
③ 湯水混合栓を開いてお湯を出す。

お知らせ

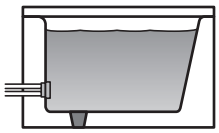
- **サーモスタット付き湯水混合栓の場合は、給湯温度の設定を、使用される温度より約5～10℃高く設定されることをおすすめします。高く設定していない場合、湯水混合栓で設定した湯温にならないことがあります。**
- **給湯温度は季節や配管の温度状態により異なります。リモコンの温度設定は目安としてお使いください。**
- **リモコンの優先権を変更しても、給湯温度は変わりません。**
- **給湯開始後しばらくの間は、配管内の冷めた水が出ます。**
- **給湯を一旦停止して、再度給湯を開始した場合、少しの間、給湯温度が変動することがあります。**
- **湯水混合栓を絞り、湯量が減るとお湯がぬるくなることがあります。**

おふろの使い方

おふろの沸かしかた（お湯はり）

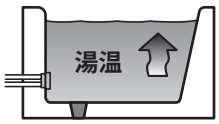


・浴槽が空のとき …… ふろ自動 を押す。（→28ページ）

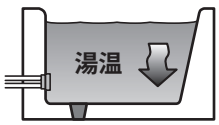


・浴槽の残り湯をそのまま沸かすとき …… ふろ自動 を押す。（→30ページ）

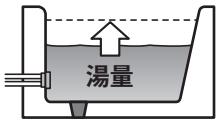
入浴したら



・ぬるいとき（追いだき）…… 追いだき を押す。（→35ページ）



・あついとき …… さし水 を押す。（→38ページ）



・お湯の量を増やしたいとき …… たし湯 を押す。（→37ページ）

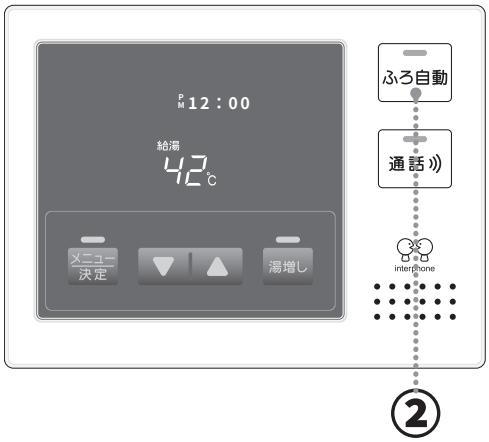
こんなときは（その他の機能）

・お好みに合わせてふろ温度とふろ湯量を設定するとき ……（→32、33ページ）
・お好みに合わせて湯はり後の保温時間を設定するとき ……（→34ページ）
・予約した時間に入浴できるように湯はりするとき ……（→39ページ）
・浴室リモコンと台所リモコンの間で通話するとき ……（→41ページ）
・排水をしてふろ配管の洗浄をするとき ……（→43ページ）

湯はりをする（ふろ自動運転）

●スイッチを押すだけで、設定したふろ湯量・ふろ湯度で湯はりをします。
●湯はりが終わると、自動で保温とたし湯を行います。（運転モードが、「控えめ」の場合、省エネのため、湯はり完了後の自動保温と自動たし湯は行いません。）
●台所リモコン・浴室リモコンのいずれからもふろ自動運転を行うことができます。
●お買い上げ時の設定は、湯はり温度42℃、湯はり量180Lです。

■台所リモコン



■浴室リモコン

① 浴槽を確認する。

●残り湯を排水して浴槽の排水栓を閉じてください。
●浴槽にふたをしてください。
●湯はり温度、湯はり量を変更する場合は、各設定を行ってください。（→32、33ページ）

② ふろ自動 を押す。

●「お湯張りをします」と音声でお知らせし、ふろ自動ランプが点灯して、自動湯はりを開始します。（台所リモコンから行った場合は、「お湯張りします」と、表示でもお知らせします。）
●湯はり中は、ふろ自動ランプが点灯し、湯量表示バーが順番に点滅します。

■台所リモコン表示部

○ 湯はりが完了すると、お知らせします。

●「♪♪、お風呂が沸きました、お風呂が沸きました」とメロディと音声でお知らせし、ふろ自動ランプと湯量表示バーが消えます。
◉運転モードが「控えめ」以外の場合、設定されたふろ保温時間中は、ふろ自動ランプと保温表示が点灯し、ふろ自動運転（自動保温、自動たし湯）を行います。保温時間を過ぎると「ふろ自動運転」は解除され、ふろ自動ランプと保温表示が消えます。

湯はりをする（ふろ自動運転）

ふろ自動運転を途中でやめるとき

ふろ自動運転中に［ふろ自動］を押す。

●ふろ自動ランプが消え、湯はりを中止します。

貯湯量とふろ自動運転

●ふろ自動運転に必要な貯湯量がない場合、すぐに一時停止します。また、ふろ自動運転中に給湯などを使用すると、貯湯量が減り一時停止することがあります。
（一時停止中は、湯量表示バー2本が点滅します。）
自動湯増しにより貯湯量が確保されるとふろ自動運転を再開します。

●ふろ自動運転が一時停止すると、湯はり完了までに時間がかかることがあります。また、設定した湯はり量にならない場合があります。

お願い

●ふろ自動運転中にジェットバスを使用しないでください。ジェットバス等の気泡や水泡によりエコキュートがふろの水位を誤検知し、設定通りにならないことがあります。
●湯はり中は、湯水混合栓やシャワーなどから浴槽へお湯や水をたしたり、浴槽からお湯をくみ出したり排水したりしないでください。正常に湯はりできないことがあります。
●湯はり完了前に入浴しないでください。正常に湯はりができないことがあります。
●浴槽に残り湯がある場合、正常に湯はりができないことがあります。

お知らせ

・湯はり直前や湯はり中に台所やシャワーなどでお湯を使用されますと、湯はり時間が長くなることがあります。また、他の水栓の使用量が多く湯はり用に十分な流量が確保できないときは、湯はりを自動的に一時停止することがあります。
・設置後数日間は、湯はり学習のため、水位や湯温、湯はり時間が変動する場合があります。

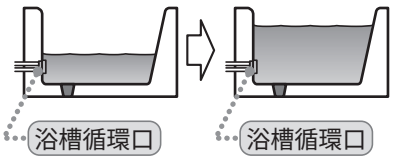
湯はりをする（ふろ自動運転）

浴槽の残り湯をそのまま沸かすとき

残り湯が浴槽循環口より上のとき

ふろ自動 を押す。

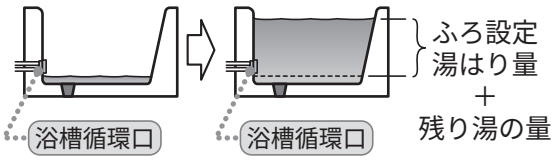
- 設定された湯はり量の不足分をたし湯し、設定温度まで沸き上げて保温します。
- 沸き上がり時の浴槽の湯はり量はばらつくことがあります。
- 運転モードが省エネモードの「控えめ」の場合は、湯はりできません。
  ふろ自動運転をする前に、残り湯を排水してください。



残り湯が浴槽循環口より下のとき

ふろ自動 を押す。

- 設定された湯はり量を湯はりし、設定温度まで沸き上げて保温します。
- 残り湯の量だけ浴槽の湯はり量が増えます。あふれるようでしたら、ふろ自動運転をする前に残り湯を排水してください。
- 残り湯が浴槽循環口より下で浴槽循環口付近まである場合は、自動たし湯をしないことがあります。



お願い

●昨日の残り湯を沸かしなおす場合に、残り湯の温度が低い場合や貯湯量が少ない場合は、残り湯を沸かすことができない場合があります。この場合、一旦ふろ自動運転を中止して、浴槽のお湯を排水して、ふろ自動運転で湯はりしてください。

ふろ自動運転を再開したいとき

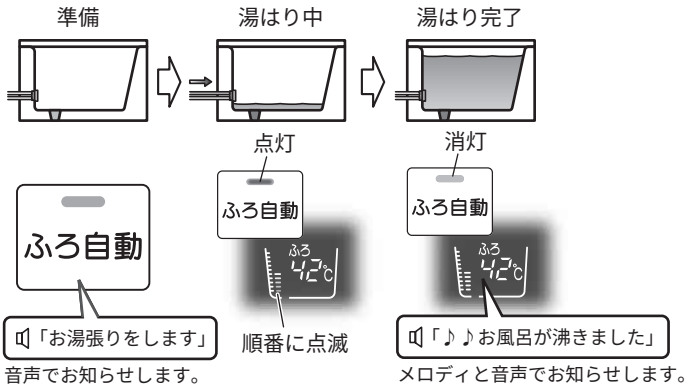
もう一度ふろ自動 を押す。

- ふろ自動ランプが点灯し、自動保温・自動たし湯が延長されます。

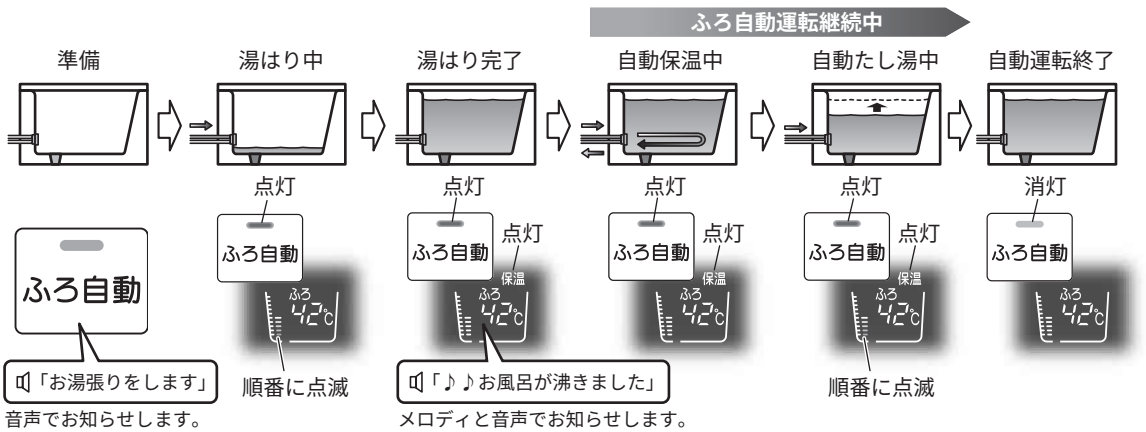
湯はりをする（ふろ自動運転）

ふろ自動運転中の動作

運転モードが「控えめ」の場合



運転モードが「控えめ」以外の場合



湯はり完了後、ふろ自動運転継続中は、浴槽のお湯の温度と湯量を確認し、設定した温度と湯量になるよう自動で湯温を上げたり、たし湯を行います。
「控えめ」モードの場合は、自動でふろ保温は行いません。

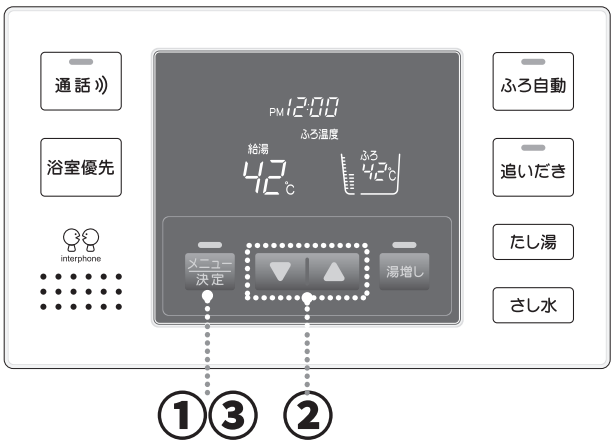
お知らせ

- 湯はり直前や湯はり中に台所やシャワーなどでお湯を使用されますと、湯はり時間が長くなったり、湯はり水位が変動することがあります。また、湯はり完了時のメロディと音声が鳴らない場合があります。
  他の水栓の使用量が多く湯はり用に十分な流量が確保できないときは、湯はりを自動的に一時停止することがあります。
- 給湯と湯はりを同時に行ったときは、給湯量が減少することがあります。
- 設置後数日間は、湯はり学習のため、水位や湯温、湯はり時間が変動する場合があります。
- 湯はり動作中に、ふろポンプが運転しますが異常ではありません。また、ふろ配管内の泡が浴槽循環口からボコボコと出ることがありますが異常ではありません。
- ふろ配管が冷めているときは、自動保温・自動たし湯開始後しばらくの間は冷めた水が出ます。
- ふろ自動運転が終了すると、外気温が低いときには入浴中でも凍結防止が働き、ふろ配管内の冷めた水が浴槽内に出ることがあります。

ふろ温度の設定

●ふろ自動運転のふろ温度を設定します。
●浴室リモコンから設定を行うことができます。
●お買い上げ時の設定は、42℃です。

■浴室リモコン



① メニュー 決定 を押す。

●「ふろ温度」と現在の設定温度が点滅します。

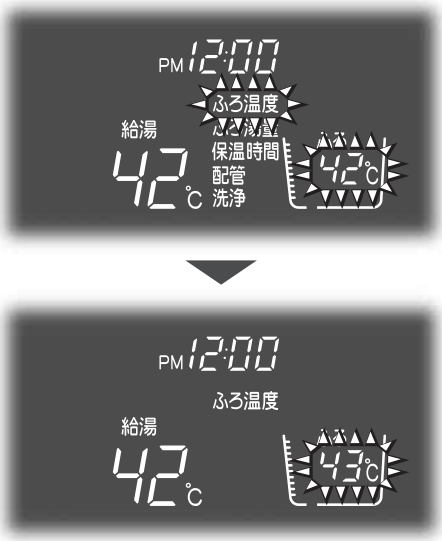
② ▼ または ▲ を押して、ふろ温度を設定する。

● ▲ を押すと1℃ずつ高くなります。

● ▼ を押すと1℃ずつ低くなります。

●浴槽内のお湯の温度は季節や配管の温度状態により異なります。リモコンの表示は目安としてお使いください。

■浴室リモコン表示部



設定範囲（℃）	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48

③ メニュー 決定 を押す。

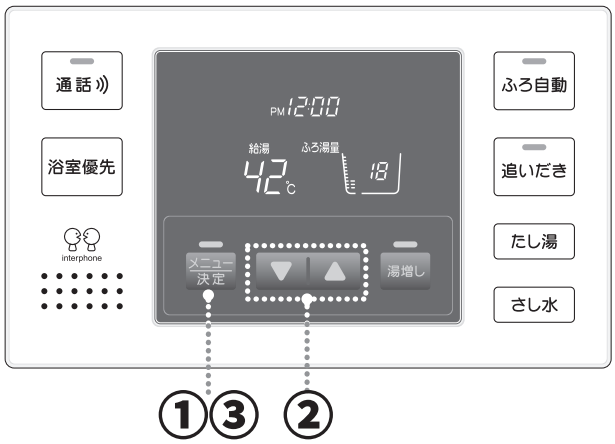
●「ふろ温度が変更されました」と音声でお知らせします。

● メニュー 決定 を押さずに20秒以上経過すると、設定は決定されず、通常表示に戻ります。

ふろ湯量の設定

●ふろ自動運転のふろ湯量を設定します。
●浴室リモコンから設定を行うことができます。
●お買い上げ時の設定は、180Lです。

■浴室リモコン



① メニュー 決定 を2回押す。

●「ふろ湯量」、湯量表示バーと現在の設定量が点滅します。
●ふろ湯量表示は、上2桁で表示されます。
例　「18」は、180Lを示します。

② ▼ または ▲ を押して、ふろ湯量を設定する。

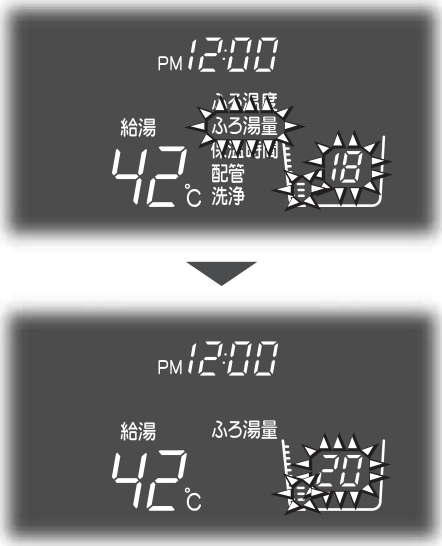
● ▲ を押すと20Lずつ増加します。
● ▼ を押すと20Lずつ減少します。

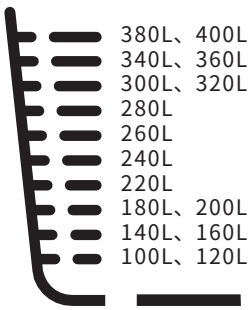
設定範囲	100L～400L（20L単位）

③ メニュー 決定 を押す。

●「ふろ湯量が変更されました」と音声でお知らせします。
● メニュー 決定 を押さずに20秒以上経過すると、設定は決定されず、通常表示に戻ります。

■浴室リモコン表示部





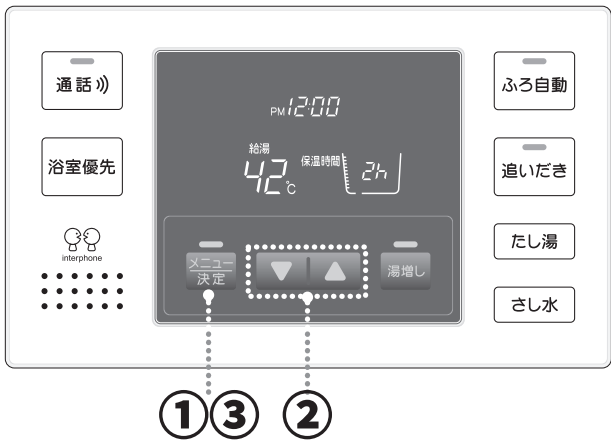
お知らせ

・湯はり動作中にふろ湯量を設定変更した場合は、次回の湯はりから湯はり量が変更されます。
・設定したふろ湯量や、季節、ご使用状況などによって湯はりの時間が長くなることがあります。

ふろ保温時間の設定

●運転モードが、省エネモードの「控えめ」の場合、湯はり完了後のふろ自動運転（自動保温・自動たし湯）は行いません。
（ふろ保温時間は設定できません。）
●運転モードを「中」または「多め」に設定した場合、ふろ保温時間を設定し、湯はり完了後のふろ自動運転（自動保温・自動たし湯）を行います。
●浴室リモコンから設定を行うことができます。

■浴室リモコン



① メニュー 決定 を3回押す。

●「保温時間」と現在の設定が点滅します。

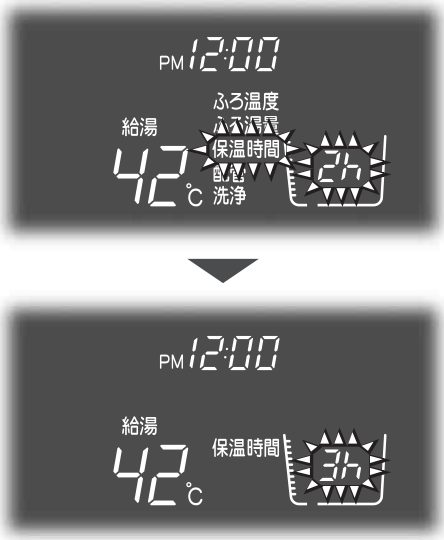
② ▼ または ▲ を押して、保温時間を設定する。

設定範囲（時間）	0	1	2	3	4	5	6

③ メニュー 決定 を押す。

●「設定されました」と音声でお知らせします。
● メニュー 決定 を押さずに20秒以上経過すると、設定は決定されず、通常表示に戻ります。

■浴室リモコン表示部



お知らせ

・貯湯タンク内の湯量が減少すると、ふろ自動運転が設定時間前に一時停止することがあります。
・保温時間を「0h」（時間）に設定すると、湯はり完了後の自動運転（自動保温・自動たし湯）は行われません。

浴槽の湯温をあげる（追いだき）

●運転モードが省エネモードの「控えめ」の場合、浴槽循環口からの高温さし湯（約20L）により浴槽の湯温を上げます。
●運転モードを「中」または「多め」に設定した場合、ふろポンプが動き、追いだきして浴槽の湯温を上げます。
●浴室リモコンから行います。

■浴室リモコン

⚠警告

- **入浴するときは浴槽循環口から離れる。**
  やけどをすることがあります。
- **浴槽にお湯がないときは、追いだきスイッチを押さない。**
  やけどをすることがあります。
  追いだきをしたときに熱いお湯が出ます。

① 追いだき を押す。

運転モードが、「控えめ」の場合

- 「高温さし湯をします」と音声でお知らせし、追いだきランプが点灯して、高温さし湯を行います。
- 高温さし湯中は湯量表示バーが点滅します。

運転モードが、「中」または「多め」の場合

- 「追いだきをします」と音声でお知らせし、追いだきランプが点灯して、追いだきを行います。
- 追いだき中は、湯量表示バーが点滅します。

■浴室リモコン表示部

追いだき

追いだきを途中でやめるとき

追いだき運転中に 追いだき を押す。

- 追いだきランプと湯量表示バーの点滅が消え、追いだきを中止します。

ふろ温度表示が点滅しているとき

貯湯量が足りないため、追いだきを一旦停止しています。

- 自動湯増しで、貯湯量が十分になると自動で追いだきを再開します。

浴槽の湯温をあげる（追いだき）

貯湯量と追いだき

●追いだきに必要な貯湯量がない場合、すぐに一時停止します。また、追いだき途中に給湯などを使用すると、貯湯量が減り一時停止することがあります。
（一時停止中は、ふろ温度表示が点滅します。）
自動湯増しにより貯湯量が確保されると追いだきを再開します。
運転モードが「控えめ」の場合、追いだきスイッチを受け付けない場合があります。また、追いだき中に貯湯量がなくなると、追いだき（高温さし湯）を停止する場合があります。（→46ページ）

お願い

●昨日の残り湯を沸かしなおす場合に、残り湯の温度が低い場合や貯湯量が少ない場合は、残り湯を沸かすことができない場合があります。この場合、一旦追いだきを中止して、浴槽のお湯を排水して、ふろ自動運転で湯はりしてください。

お知らせ

・追いだきに要する時間は、使用湯量、貯湯温度により長くなる場合があります。
・ふろ配管が冷めているときは、追いだき開始後しばらくの間は冷めた水が出ます。
・次の動作中は追いだきできません。自動湯はり中、さし水中、たし湯中、ふろ配管洗浄（配管洗浄）中。
・貯湯タンクの熱がおふろに移動するため、追いだき中に貯湯量が減り、タンク空表示が点滅することがあります。
※お湯が漏れているわけではありません。
・追いだき運転は、約設定温度＋1℃になるように追いだきします。
・高温さし湯のときは、浴槽循環口からお湯が出るため、浴槽の湯量が増え、水位が上昇します。

浴槽のお湯をふやす（たし湯）

●設定されているふろ温度のお湯（約30L）が浴槽循環口から出ます。
●浴室リモコンから行います。

■浴室リモコン

① たし湯 を押す。

●「たし湯をします」と音声でお知らせし、「たし湯」表示が点灯して、たし湯を行います。たし湯中は、湯量表示バーが順番に点滅します。

■浴室リモコン表示部

たし湯を途中でやめるとき

たし湯中に たし湯 を押す。

●「たし湯」表示と湯量表示バーの点滅が消え、たし湯を中止します。

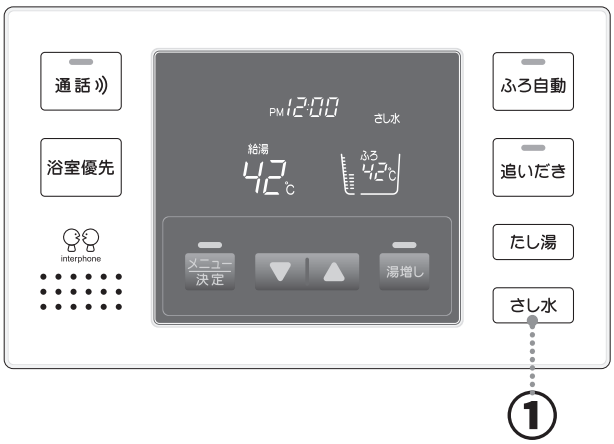
お知らせ

- ふろ配管が冷めているときは、たし湯開始後しばらくの間は冷めた水が出ます。
- 次の動作中はたし湯できません。
  自動湯はり中、追いだき中、さし水中、ふろ配管洗浄（配管洗浄）中。
- タンク空表示が点滅したら、たし湯できない場合があります。
  自動湯増しにより貯湯量が十分になってから、たし湯をしてください。

浴槽の湯温をさげる（さし水）

●浴槽の湯温をさげるために、約10Lの水が浴槽循環口から出ます。
●浴室リモコンから行います。

■浴室リモコン



① さし水 を押す。

●「さし水をします」と音声でお知らせし、「さし水」表示が点灯して、さし水を行います。
さし水中は、湯量表示バーが順番に点滅します。

■浴室リモコン表示部

さし水を途中でやめるとき

さし水中に さし水 を押す。

●「さし水」表示と湯量表示バーの点滅が消え、さし水を中止します。

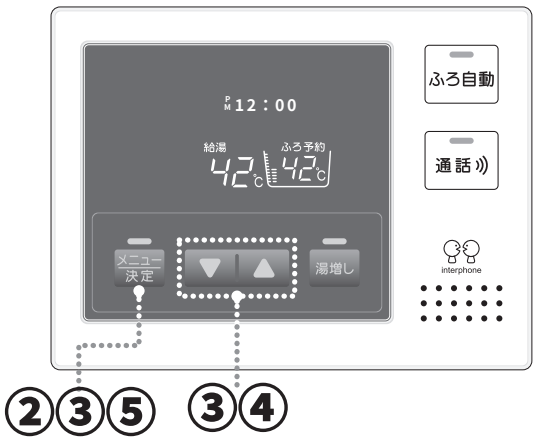
お知らせ

・次の動作中はさし水できません。
自動湯はり中、たし湯中、追いだき中、ふろ配管洗浄（配管洗浄）中。

湯はりの予約（ふろ予約）

●ふろ予約を設定すると、予約した時刻に入浴できるよう自動湯はりを行います。
●台所リモコンから行います。
●お買い上げ時の設定は、PM6:00です。

■台所リモコン



① 浴槽を確認する。

●残り湯を排水して浴槽の排水栓を閉じてください。
●浴槽にふたをしてください。

②「2 ふろ予約」が表示されるまで メニュー 決定 を数回押す。

●「2 ふろ予約」と表示され、その後現在のふろ予約設定が表示されます。

③ ▼ または ▲ を押して、「入」を選択し、メニュー 決定 を押す。

●「時刻を合わせてください」と音声でお知らせし、「時・分」が点滅します。
（前回設定した予約時刻を表示します。）

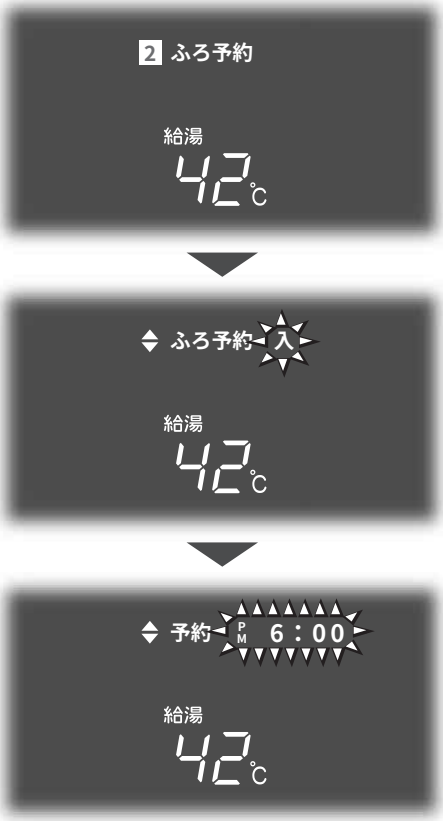
④ ▼ または ▲ を押して、「時刻」を合わせる。

● ▲ を押すと1分ずつ進みます。
● ▼ を押すと1分ずつ戻ります。
●押し続けると、10分単位で替わります。

⑤ メニュー 決定 を押す。

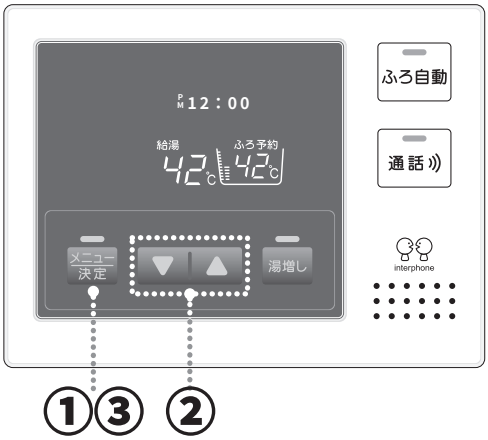
●予約時刻が決定し、「設定されました」と音声と表示でお知らせし、「ふろ予約」表示が点灯します。その後、通常表示に戻ります。
●浴室リモコンにも、「ふろ予約」表示が点灯します。
● メニュー 決定 を押さずに20秒以上経過すると、設定は決定されず、通常表示に戻ります。

■台所リモコン表示部



湯はりの予約（ふろ予約）

■台所リモコン



ふろ予約をやめるとき

① 予約中に「2 ふろ予約」が表示されるまで メニュー決定 を数回押す。

●「2 ふろ予約」と表示され、その後現在のふろ予約設定が表示されます。

② ▼ または ▲ を押して、「切」を選択する。

③ メニュー決定 を押す。

●「設定されました」と音声と表示でお知らせし、「ふろ予約」表示が消灯します。その後、通常表示に戻ります。

● メニュー決定 を押さずに20秒以上経過すると、設定は決定されず、通常表示に戻ります。

■台所リモコン表示部

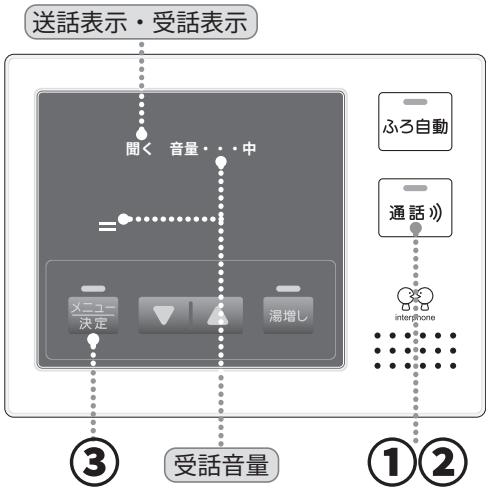
お知らせ

- ふろ予約をしている間、「ふろ予約」が点灯し時刻は現在時刻を表示します。
- ふろ予約は、入浴時刻（湯はり完了時刻）の1時間以上前に行ってください。
  1時間以内に予約した場合は、予約した時刻に湯はりが完了しないことがあります。
  また、ふろ湯はりに必要な貯湯量がたりないときは、予約した時刻に湯はりが完了しないことがあります。
- 台所リモコンの現在時刻が正確でないと、予約した時刻に湯はりが完了しません。
- ふろ予約は、湯はり動作が開始すると自動的に解除されますので、ふろ予約を行う場合は、その都度予約操作を行ってください。
- ふろ予約中に ふろ自動 、 追いだき 、 たし湯 、 さし水 を押すと、予約は解除されます。
  また、ふろ配管洗浄（配管洗浄）を開始すると予約は解除されます。
- 湯はり中に、台所やシャワーなどから湯を使用されますと、予約時刻までに湯はりが完了しないことがあります。
- 次のときはふろ予約できません。
  現在時刻未設定時、ふろ自動運転中、追いだき中、さし水中、たし湯中、ふろ配管洗浄（配管洗浄）中。

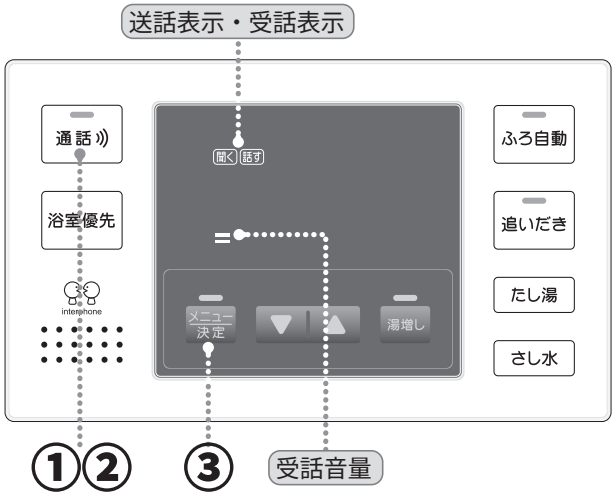
通話をする

●浴室リモコンと台所リモコンの間で通話することができます。
●通話中に、受話音量を変えることができます。
●お買い上げ時の設定は、受話音量「中」です。

■台所リモコン



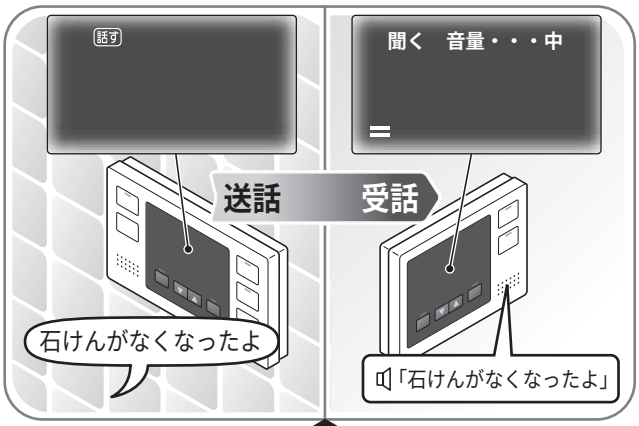
■浴室リモコン



通話の開始

① 通話 を押す。

●通話ランプが点灯し「ピピピピッ、ピピピピッ」と呼出音が鳴ったあとに、相手に話すことができます。
●送話側リモコンに「話す」表示が点灯します。
受話側リモコンに「聞く」および「受話音量」表示が点灯します。

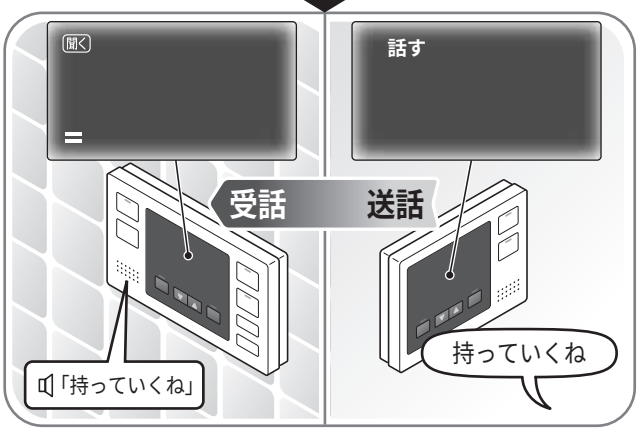


通話の切り替え

② 通話 を押して、送話と受話を切り替える。

●「話す」「聞く」の表示が切り替わります。
●送話側リモコンと受話側リモコンのどちら側でも通話を切り替えることができます。
● 通話 を押すごとに送話と受話が切り替わります。

通話 を押すごとに切り替わります。



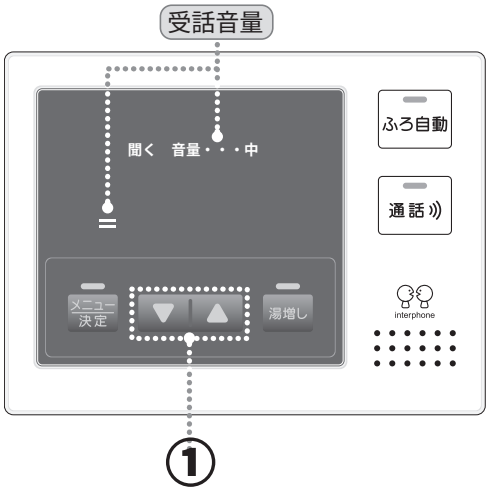
通話の終了

③ メニュー決定 を押す。

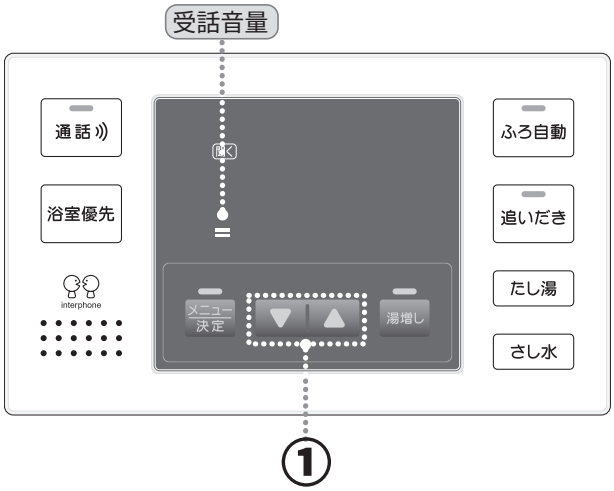
●通話ランプは消灯します。

通話をする

■台所リモコン



■浴室リモコン



受話音量の変更

受話のとき、受話音量を変えることができます。

① 受話中に ▼ または ▲ を押す。

- ●受話音量は3段階で変えることができます。
- ● ▲ を押すと受話音量が大きくなります。
- ● ▼ を押すと受話音量が小さくなります。

■台所リモコン表示部

〈受話音量　大〉

〈受話音量　中〉

〈受話音量　小〉

■浴室リモコン表示部

〈受話音量　大〉

〈受話音量　中〉

〈受話音量　小〉

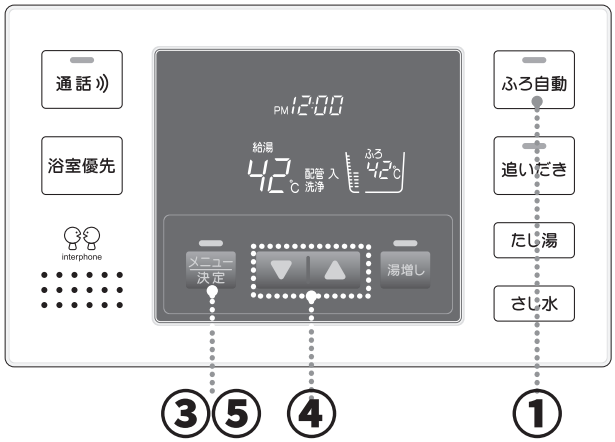
お知らせ

- **通話時間はオプション設定で変更できます。お買い上げ時の設定は、10秒です。（→48ページ）**
- **通話 を押して通話を始めた最初の送話のみ、設定した時間（10秒・20秒・30秒）が経過すると送話と受話が切り替わります。通話 を押しても切り替えることができます。**
  以降、通話 を押して送話と受話を切り替えなかった場合は設定した時間で通話が終了します。
- **通話は合計で最長4分間まで通話することができます。**
- **通話時間をなしに設定すると、呼出音のみとなり通話はできなくなります。**
- **リモコンから30cm程度離れて通話をしてください。近くで大きな声を出すと聞きにくくなります。**
- **ふろ自動、湯増し、追いだきのランプ点灯中に通話 を押して通話を始めると、通話ランプ以外のランプは通話中一時消灯します。**

排水とふろ配管の洗浄（配管洗浄）

●ふろ配管にたまった水をきれいな水（お湯）で排水します。
快適にご使用いただくために、排水後毎回行うことをおすすめします。
●浴室リモコンから配管洗浄を行います。
●洗浄剤を使用して配管の洗浄を行う場合は、「ふろ配管のお手入れ」を参照してください。（→63ページ）

■浴室リモコン



① ふろ自動運転の停止を確認する。

● ふろ自動 のランプが点灯しているときは、 ふろ自動 を押し、ふろ自動運転を停止します。

② 浴槽の排水栓を抜き、排水する。

③ メニュー決定 を4回押す。

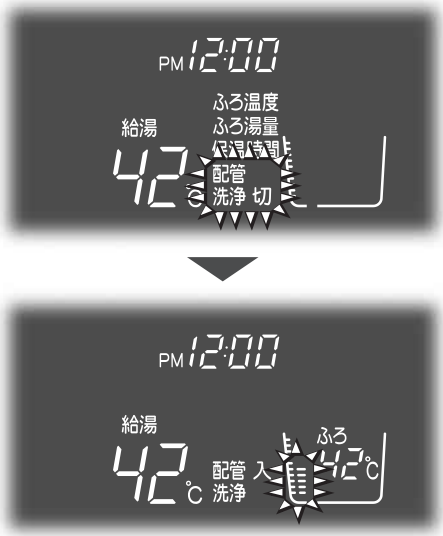
●「配管洗浄 切」が点滅します。

④ ▼ または ▲ を押して、「入」を選択する。

⑤ メニュー決定 を押す。

●「配管洗浄をします」と音声でお知らせし、「配管洗浄 入」表示が点灯して、約15Lの水（お湯）で配管洗浄を行います。
●配管洗浄中は、湯量表示バーが点滅します。
● メニュー決定 を押さずに20秒以上経過すると、設定は決定されず、通常表示に戻ります。

■浴室リモコン表示部



配管洗浄を途中でやめるとき

配管洗浄中に メニュー決定 を押す。

●「配管洗浄 入」が消灯し、配管洗浄を中止します。

お知らせ

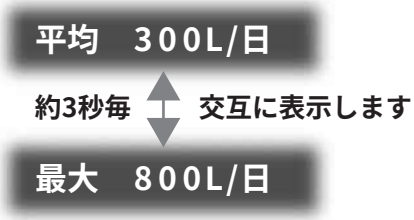
・ふろ配管洗浄開始時に熱いお湯が出ることがあります。

情報を見る（ナビモード）

表示項目一覧

1週間使用量表示

過去1週間分の使用したお湯の量の目安を表示します。



保温残り時間表示

ふろ自動運転の継続時間の残り時間の目安を表示します。

- ふろ自動運転が行われていないときは「0時間0分です」と表示します。
- 運転モードが「控えめ」の場合、保温残り時間は表示されません。

本日の使用量表示

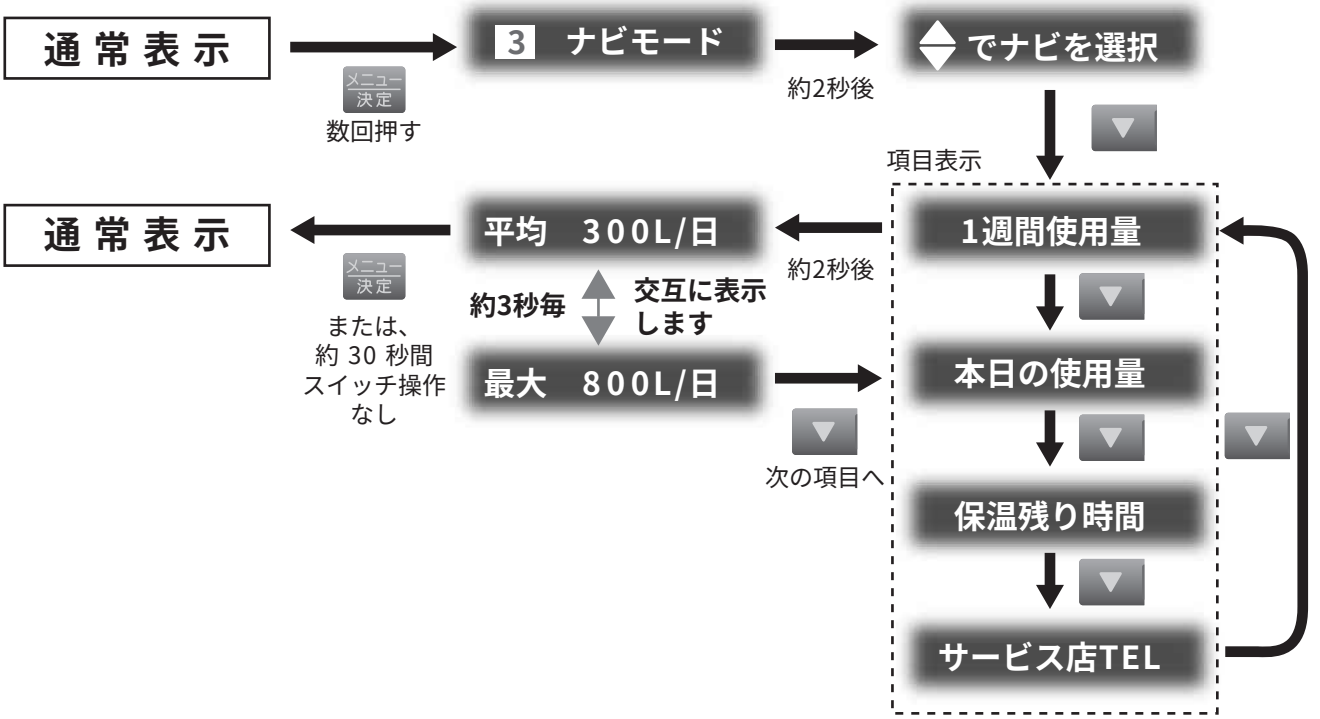
本日使用したお湯の量の目安を表示します。

サービス店TEL表示

故障時の連絡先の電話番号を表示します。

- オプション設定で登録したTEL番号を表示します。TEL番号が設定されていない場合はこの項目は表示しません。
- サービス店の電話番号が設定されていない場合は、オプション設定で電話番号登録が必要です。（→49ページ）

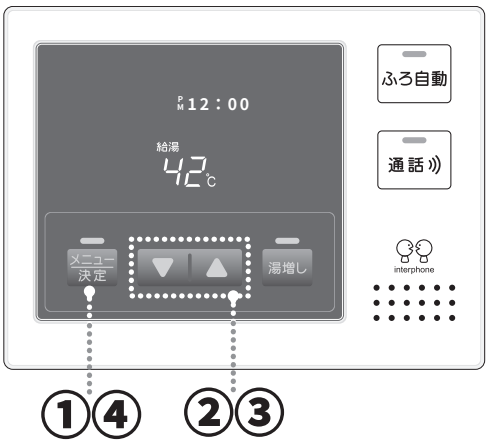
操作概要



情報を見る（ナビモード）

●使用湯量等の情報を表示します。（表示される内容は目安です。）
●台所リモコンから情報を見ることができます。

■台所リモコン



①「3 ナビモード」が表示されるまで メニュー 決定 を数回押す。

●「3 ナビモード」と表示され、その後ナビモード項目表示になります。

② ▼ または ▲ を押して、項目を選択する。

●順番で項目が切り替わります。

③ 2秒待つと内容を表示する。

●内容表示中に ▼ または ▲ を押すと、次の項目に移動します。

④ メニュー 決定 を押して、終了する。

●通常表示に戻ります。
●約30秒間操作をしない場合もナビモードを終了し、通常表示に戻ります。

■台所リモコン表示部

タンク空表示について

●タンク空表示は貯湯タンク内のお湯が残り少なくなると点滅します。
●貯湯タンク内のお湯の量が少ないときは 湯増し を押して貯湯量を確保してください。
●おふろの機能には、貯湯量が少なくなると操作できないものがあります。

タンク空表示と機能の制限

タンク空表示が点滅したとき

●貯湯タンク内に、約50℃以上のお湯が約20L未満になると点滅し、「ピピピッ」と警告音でお知らせします。
●タンク空表示が点滅すると、以下のような動作になります。

スイッチ	タンク空表示が点滅中にスイッチ操作をしたとき	運転中にタンク空表示が点滅したとき
ふろ自動	スイッチを受け付けた後、自動湯増しにより貯湯量が確保されると運転開始します。 ※1	運転を一時停止します。この後、自動湯増しにより貯湯量が確保されると運転を再開します。 ※2
追いだき		
たし湯	「ピピピッ」と鳴り、たし湯できない場合があります。	途中で運転を停止する場合があります。

※1 運転モードが「控えめ」の場合、「ピピピッ」と鳴り、追いだきスイッチを受け付けない場合があります。
※2 運転モードが「控えめ」の場合、途中で追いだき（高温さし湯）を停止する場合があります。

お知らせ

- お湯を使用しなくても、追いだきやふろ自動保温により貯湯タンク内の湯温が低下した場合、タンク空表示が点滅することがあります。また、お湯の温度は、時間の経過による放熱のため低下し、タンク空表示が点滅することがあります。
  （外気温度や風の影響にもよりますが、朝から夕方（半日）までの間に約5℃～10℃程度低下します。）
  ※お湯が漏れているわけではありません。
- 運転モードを「控えめ」から他の運転モードに変更すると、タンク空表示が点滅する場合があります。

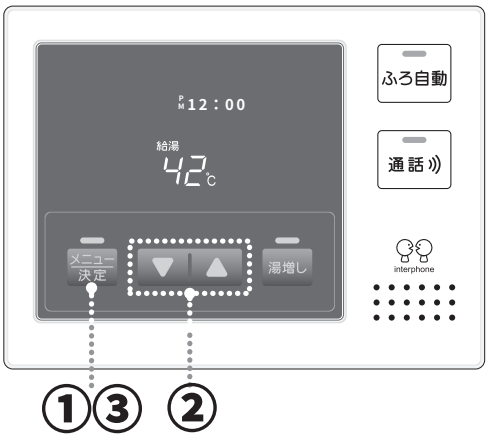
湯切れをしないために

●貯湯量が不足しそうなときは、「湯増し」を利用してください。（→23ページ）
●日頃のお湯の使用量が少ない場合や、暑い季節から寒い季節への変わり目など沸き上げ温度が低めの場合は、給湯や湯はりにより早めにタンク空表示が点滅することがありますので、「湯増し」を利用してください。（→23ページ）
●外泊などによって1日以上お湯を使用されなかったときは、貯えられたお湯の温度が低下し、早めにタンク空表示が点滅することがあります。この場合、「湯増し」を利用してください。
（→23ページ）

リモコンの表示を消す（自動消灯設定）ー

●台所リモコンと浴室リモコンの表示は、一定時間スイッチ操作や給湯をしないとき、表示を自動的に消します。
●台所リモコンから自動消灯するか、常時点灯かの設定を行うことができます。
●お買い上げ時の設定は、自動消灯「あり」です。

■台所リモコン



①「7 自動消灯設定」が表示されるまで メニュー 決定 を数回押す。

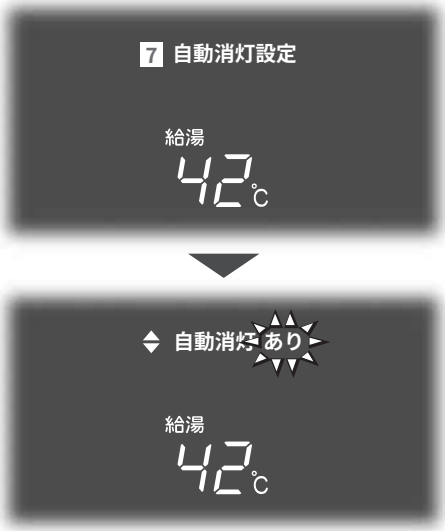
●「7 自動消灯設定」と表示され、その後現在の設定が点滅します。

② ▼ または ▲ を押して、自動消灯を設定する。

③ メニュー 決定 を押す。

●「設定されました」と音声と表示でお知らせします。
● メニュー 決定 を押さずに20秒以上経過すると、設定は決定されず、通常表示に戻ります。

■台所リモコン表示部



お知らせ

- リモコンは、約30秒（※）以上スイッチ操作や給湯を使用しないと表示は自動的に消灯します。
  ※「控えめ」モード以外のときは、30分で消灯します。
- 貯湯量が少ない（タンク空表示が点滅中）ときは、自動消灯「あり」の設定でも表示は消えません。
  貯湯量が確保されれば消灯します。
- 給湯および、ふろ動作（ふろ自動、追いだき、たし湯、さし水）、通話を開始するとすべてのリモコンの表示が点灯します。
- メニュー 決定 、▼ ▲、浴室優先 を押すと、すべてのリモコン表示が点灯します。
- 自動消灯中は メニュー 決定 のランプは点灯します。

オプション設定

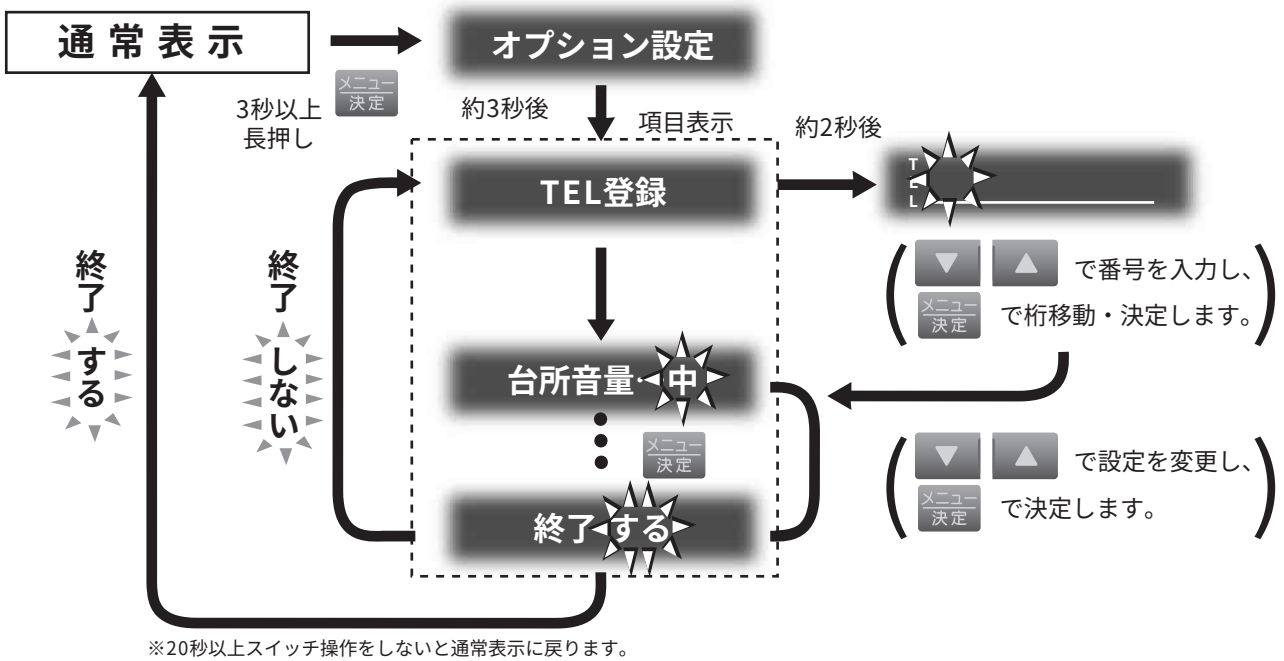
●故障時の連絡先（サービス店）の電話番号登録、リモコンの音量、明るさなどの設定ができます。
●台所リモコンから設定を行うことができます。

設定項目一覧

設定項目（表示）	設定内容	お買上げ時の設定	設定範囲
TEL登録	故障時の連絡先(サービス店)の電話番号を登録します	—	(電話番号入力)
台所音量	台所リモコンの音量を設定します ※1	中	なし・小・中・大
浴室音量	浴室リモコンの音量を設定します ※1	中	なし・小・中・大
台所輝度	台所リモコン表示部の明るさを設定します	明	明・暗
浴室輝度	浴室リモコン表示部の明るさを設定します	明	明・暗
操作音	リモコン操作音のあり・なしを設定します	あり	あり・なし
通話時間	台所リモコンと浴室リモコンで1回(一方向)に通話できる時間を設定します ※2	10秒	なし・10・20・30(秒)
ﾌﾛ凍結予防	ふろポンプ凍結予防運転の有・無を設定します ※3	有	有・無

※1 音量「なし」に設定しても警告音と湯はり終了時のメロディ音は鳴ります。
※2 通話時間を「なし」に設定すると通話できません。呼出音のみになります。
※3 ふろ凍結予防運転は、「有」でご使用ください。ふろ凍結予防運転を「無」にした場合は、ふろ凍結予防運転が働かなくなり、ふろ配管が凍結する場合があります。必ずふろ配管の凍結防止ヒータの追加、保温材の追加等十分な処置を行ってください。
(凍結予防対策をしない、または不十分な対策によりふろ配管が凍結した場合は責任を負えません。)

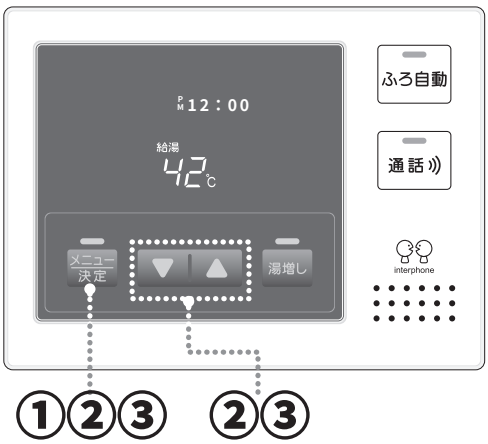
操作概要



オプション設定（TEL登録）

●故障時の連絡先（サービス店）の電話番号の設定を説明します。

■台所リモコン



① メニュー 決定 を3秒以上押す。

●「オプション設定」と表示され、その後「TEL登録」を表示します。

② ▼ または ▲ を押して、番号を選択し、メニュー 決定 で決定する。

● メニュー 決定 を押すと、点滅が1桁右に移動します。

③ この動作を繰り返し、電話番号を入力する。

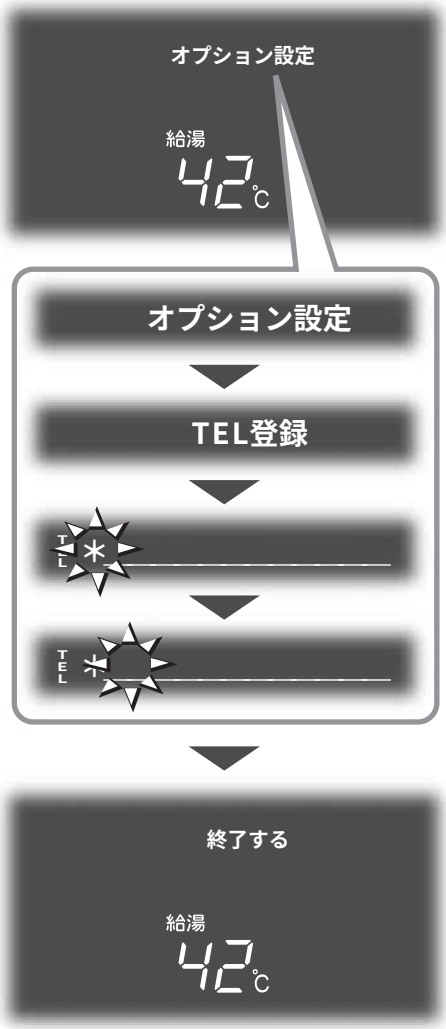
●右端の桁で メニュー 決定 を押すと、「設定されました」と音声と表示でお知らせし、次の設定項目に移ります。

● メニュー 決定 を押さずに20秒以上経過すると、設定は決定されず、通常表示に戻ります。

終了するとき

メニュー 決定 を数回押して「終了する」を選択し、再度 メニュー 決定 を押す。

■台所リモコン表示部



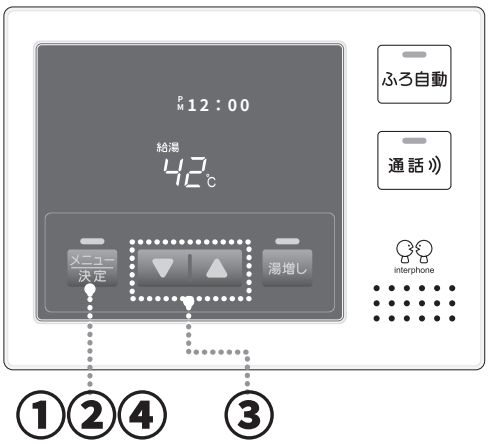
お知らせ

・TEL登録されている場合、機器に異常が発生したとき、リモコンにエラー表示と登録した電話番号が表示されます。(TEL登録されていない場合は、「修理必要」と表示されます。)

オプション設定

●TEL登録以外の設定方法を、台所リモコンの輝度設定を例に説明します。

■台所リモコン



① メニュー 決定 を3秒以上押す。

●「オプション設定」と表示され、その後「TEL登録」を表示します。

② すぐに メニュー 決定 を3回押し、「台所輝度」を表示する。

●現在の設定が点滅します。

③ ▼ または ▲ を押して、「明」・「暗」を設定する。

④ メニュー 決定 を押す。

●「設定されました」と音声と表示でお知らせします。

● メニュー 決定 を押さずに20秒以上経過すると、設定は決定されず、通常表示に戻ります。

■台所リモコン表示部

終了するとき

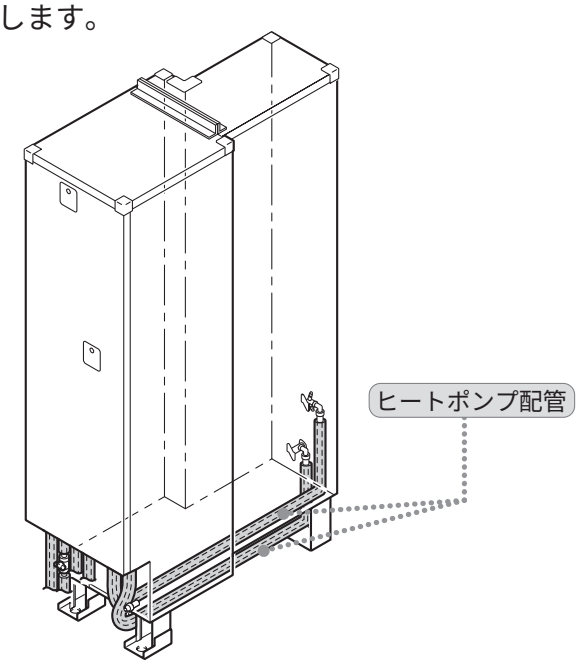
メニュー 決定 を数回押して「終了する」を選択し、再度 メニュー 決定 を押す。

冬期の凍結予防について

●冬期は暖かい地域でも、給水・給湯配管、ふろ配管、ヒートポンプ配管内の水が凍結し、破損事故が起こることがあります。
お買い上げの販売店または工事店へ相談し、適切な凍結防止対策をしてください。

ヒートポンプ配管の凍結予防

● 凍結しそうな外気温になると、ヒートポンプを自動的に運転してヒートポンプ配管内の凍結を予防します。



⚠注意

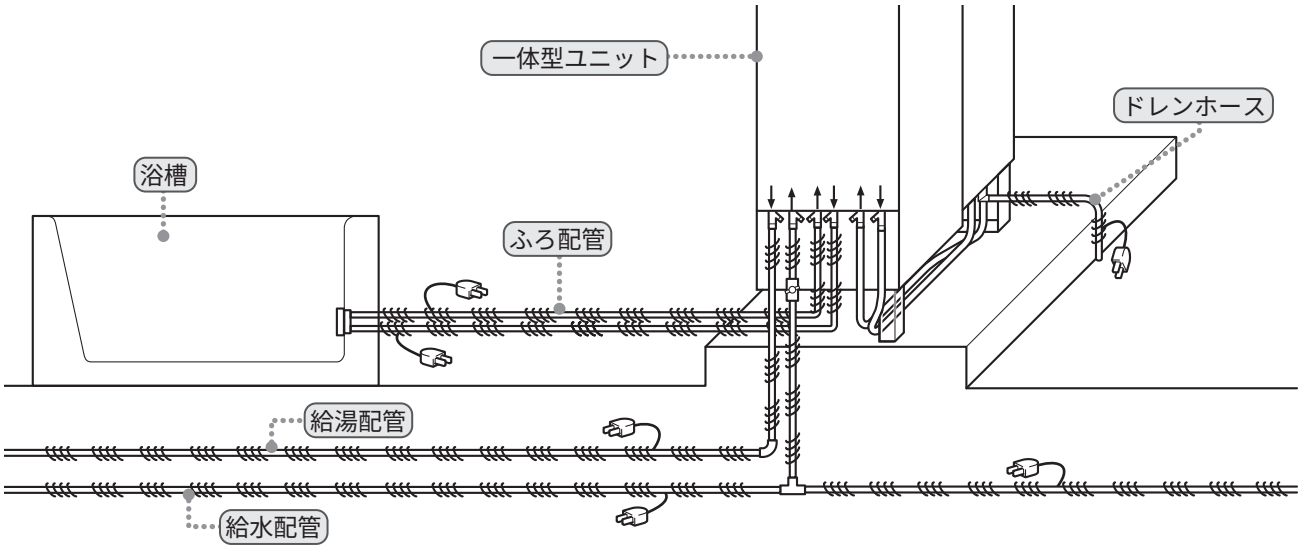
●電源を「OFF」にしない。
冬期は凍結して機器が破損することがあります。電源を「OFF」にする場合は、機器から排水をしてください。（→57ページ）

① 電源を入れたままにしておく。

●外気温が約3℃以下になると、ヒートポンプユニットを運転し、ヒートポンプ配管に水を循環させます。

凍結防止ヒータ（その他配管の凍結予防）

● 凍結防止ヒータを使用するときは、すべての電源プラグをコンセントに差し込みます。
● 凍結防止ヒータを使用しないときは、すべての電源プラグをコンセントから抜いてください。



⚠注意

● 配管の凍結防止対策を確認する。
凍結すると機器が破損したり配管が破裂して、やけどや水漏れをすることがあります。

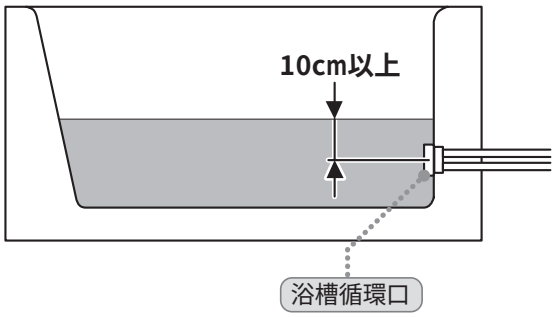
お願い

●配管が凍結した場合は、給水専用止水栓を閉じて、お買い上げの販売店または据付工事店へご連絡ください。

冬期の凍結予防について

ふろ配管の凍結予防（浴槽の残り湯循環）

● 自動保温または追いだき終了後、凍結しそうな気温になると、ふろポンプを自動的に運転してふろ配管の凍結を予防します。



① 入浴後、浴槽のお湯を排水せず残しておく。

- ●浴槽循環口中心より10cm以上の水位としてください。
- ●外気温が約3℃以下になると、自動的にふろポンプを運転し、ふろ配管に残り湯を循環させます。

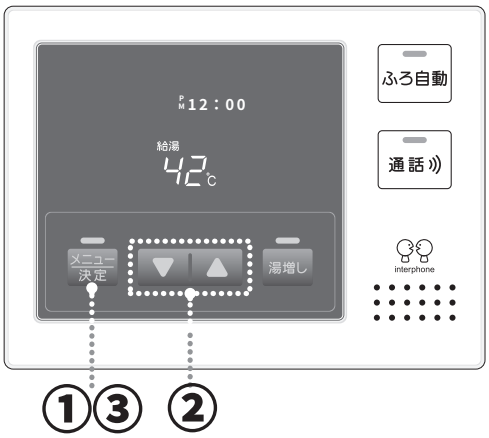
お知らせ

- **自動保温または追いだき終了後、入浴中でも凍結防止が働き、配管内の冷めた水が浴槽に出ることがあります。**
- **残り湯がある場合は、条件になると繰り返し凍結予防運転を行います。**
- **浴槽の残り湯が少ないときやない場合、浴槽循環口からボコボコと音がすることがありますが異常ではありません。**

夜までお湯を使用しないとき（エコ停止）ー

●お出かけなどで深夜までお湯を使用しないときは、簡単にお湯の沸き上げを停止させることができます。
●台所リモコンから設定することができます。

■台所リモコン



① メニュー 決定 を押す。

●「1 エコ停止」と表示され、その後現在の設定が点滅します。

② ▼ または ▲ を押して、「入」を選択する。

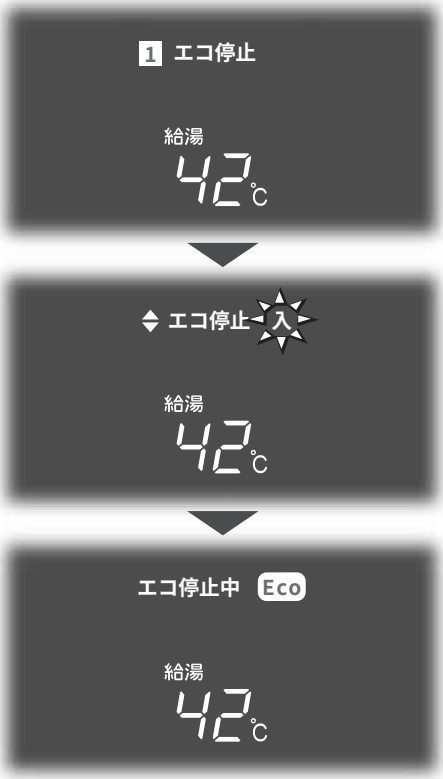
③ メニュー 決定 を押す。

●「設定されました」と音声と表示でお知らせします。
●浴室リモコン側では「設定されました」と音声でお知らせし、「Eco」と表示します。
● メニュー 決定 を押さずに20秒以上経過すると、設定は決定されず、通常表示に戻ります。

⚠注意

●電源を「OFF」にしないでください。凍結のおそれがある外気温になると、ヒートポンプユニットが自動的に運転し、ヒートポンプ配管およびヒートポンプユニット内の凍結を予防します。

■台所リモコン表示部



■浴室リモコン表示部

お知らせ

・設定したときから午前2時までのお湯の沸き上げが停止します。
　また、午前2時を過ぎたら自動で停止を解除します。
・次のときはエコ停止の設定はできません。
　時刻未設定時、休止中。

夜までお湯を使用しないとき（エコ停止）ー

エコ停止を解除したいとき

① メニュー 決定 を押す。

●「1 エコ停止」と表示され、その後現在の設定が点滅します。

② ▼ または ▲ を押して、「切」を選択する。

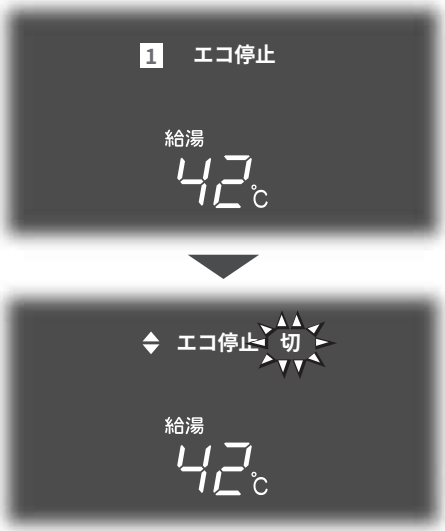
③ メニュー 決定 を押す。

●「設定されました」と音声と表示でお知らせします。

●浴室リモコン側では「設定されました」と音声でお知らせし、通常表示に戻ります。

● メニュー 決定 を押さずに20秒以上経過すると、設定は決定されず、通常表示に戻ります。

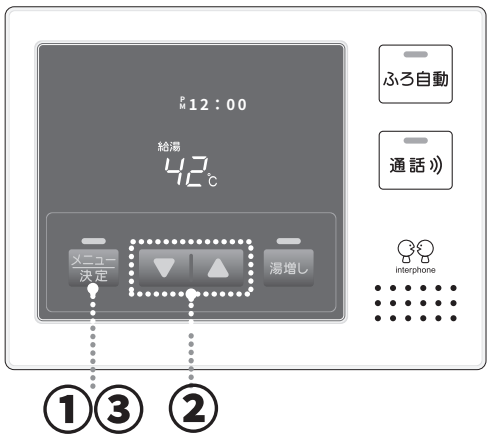
■台所リモコン表示部



数日間お湯を使用しないとき

●旅行などで数日間（0日～15日間）お湯を使用しないときは、お湯の沸き上げを停止させることができます。
●台所リモコンから設定することができます。

■台所リモコン



⚠注意

●電源を「OFF」にしないでください。凍結のおそれがある外気温になると、ヒートポンプユニットが自動的に運転し、ヒートポンプ配管およびヒートポンプユニット内の凍結を予防します。

お願い

●1ヵ月以上の休止期間の場合は、長期間お湯を使用しないときの操作を行ってください。
（→57ページ）

①「5 休止設定」が表示されるまで メニュー 決定 を数回押す。

●「5 休止設定」と表示され、その後現在の設定が点滅します。

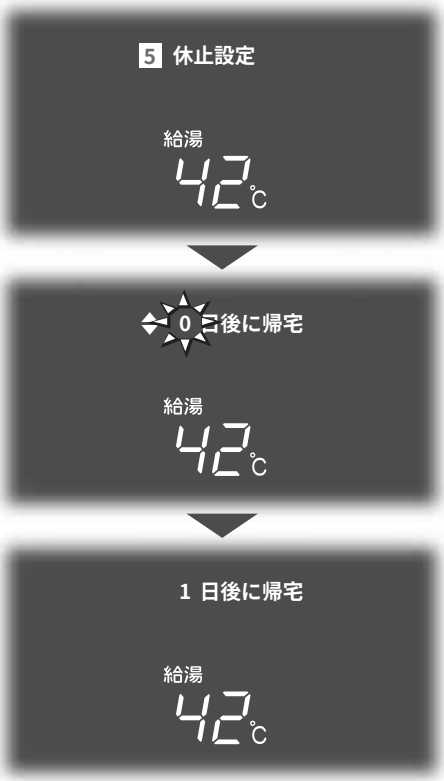
② ▼ または ▲ を押して、日数を設定する。

設定範囲（日）	0	1	2	3	・・・	14	15

③ メニュー 決定 を押す。

●「設定されました」と音声と表示でお知らせします。
● メニュー 決定 を押さずに20秒以上経過すると、設定は決定されず、通常表示に戻ります。

■台所リモコン表示部



お知らせ

・時刻未設定のときは休止設定できません。
・お湯を使用しない日数を設定する際には、右記の設定例を参考にしてください。

（設定例1）
12月1日に出発し、12月5日に帰宅する4泊5日の旅行の場合。（1日は入浴せず、5日は入浴する。）

4 泊 5 日

出発日（12月1日）に使用再開日数を「4」日後に設定

（設定例2）
使用再開日数を「1」日後に設定した場合、設定したときから翌日の午前2時までのお湯の沸き上げが停止します。

数日間お湯を使用しないとき

休止中を解除したいとき

①「5 休止設定」が表示されるまで メニュー 決定 を数回押す。

●「5 休止設定」と表示され、その後現在の設定が点滅します。

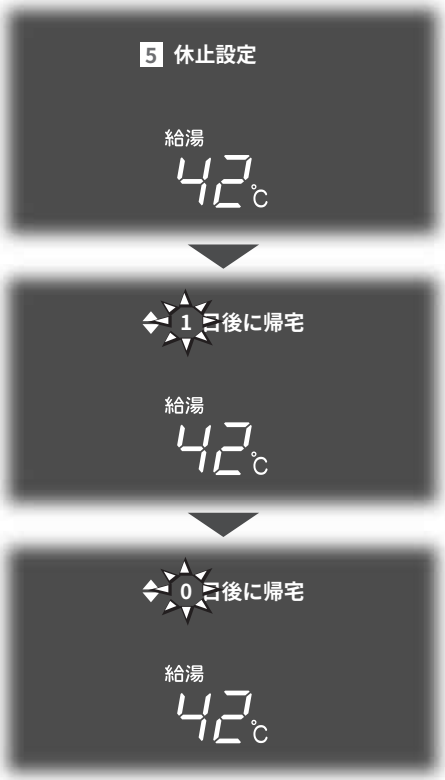
② ▼ または ▲ を押して、日数を「0日」に設定する。

③ メニュー 決定 を押す。

●「設定されました」と音声と表示でお知らせします。

● メニュー 決定 を押さずに20秒以上経過すると、設定は決定されず、通常表示に戻ります。

■台所リモコン表示部



長期間お湯を使用しないとき

●1ヵ月以上ご使用されないときは、運転を止め機器の水を抜きます。排水をするときは、やけどなどの防止のため、湯水混合栓を開き、お湯を使いきって（水の状態にして）から行ってください。
●台所リモコンから設定することができます。

⚠警告

- **排水時はお湯に手を触れない。**
- **機器の内部配管には手を触れない。**
  やけどをすることがあります。
- **漏電ブレーカを操作するときは、ぬれた手で行わない。**
  感電することがあります。

⚠注意

- **1ヵ月以上使用しないときは、電源を「OFF」にして機器からの排水をする。**
  排水しないと水質が変化することがあります。また冬期は凍結して機器が破損することがあります。

①「5 休止設定」が表示されるまで メニュー 決定 を数回押す。

●「5 休止設定」と表示され、その後現在の設定が点滅します。

② ▲ を押す。

●「1日後に帰宅」が表示されます。

③ メニュー 決定 を押す。

●「設定されました」と音声と表示でお知らせし、「1日後に帰宅」が表示されます。

④ 浴槽内の排水栓を抜く。

⑤ 湯水混合栓を開き、熱いお湯を出して機器内を水の状態にする。

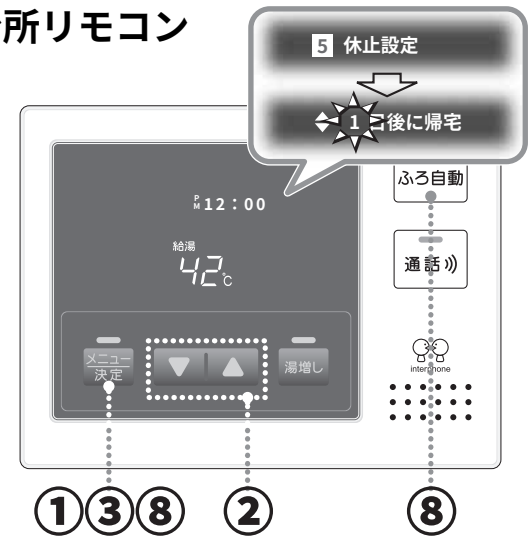
⑥ お湯が出なくなったら、湯水混合栓を閉じる。

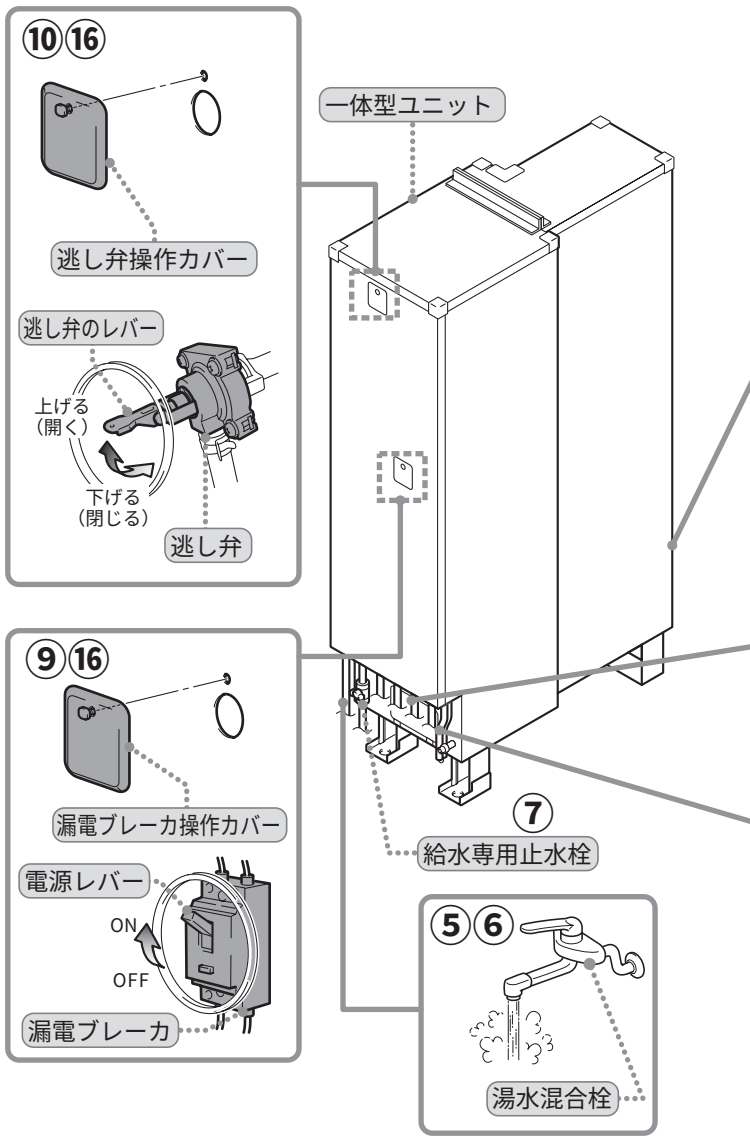
⑦ 給水専用止水栓を閉じる。

⑧ メニュー 決定 と ふろ自動 を同時に5秒以上押す。

●「水抜き中」が表示されます。

■台所リモコン

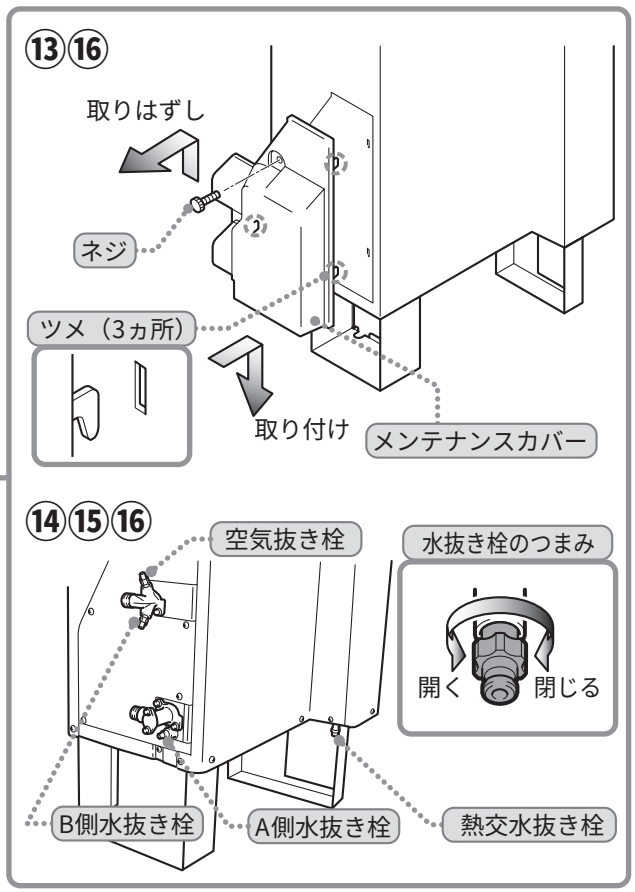


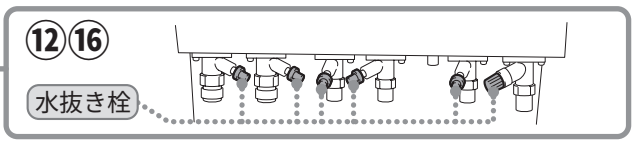


長期間お湯を使用しないとき

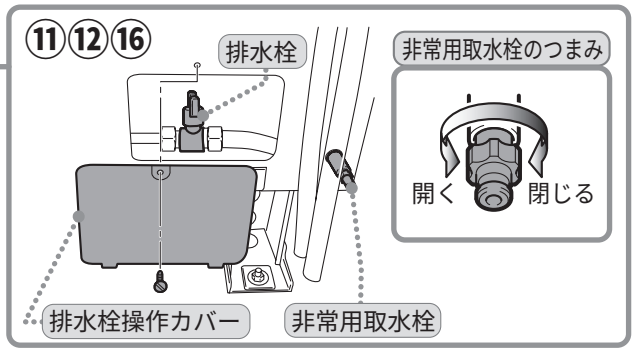
お願い

- **再びご使用になるときは「はじめてご使用になるとき」（→15ページ）の手順の準備作業を行ってください。**
- **水抜き作業後に逃し弁のレバーが下がっていること、水抜き栓・空気抜き栓・排水栓および非常用取水栓が閉じていることを確認してください。**
- **凍結するおそれのある地域でご使用の場合は、お買い上げの販売店（工事店）に連絡し機器の減圧弁・ふろポンプ・機器配管の水抜き栓からの水抜き作業を依頼してください。**





別売品の脚カバーや配管カバーを装着している場合は、カバーをはずしてください。（→15ページ）



⑨ 漏電ブレーカ操作カバーをはずし、漏電ブレーカの電源レバーをOFFにする。

⑩ 逃し弁操作カバーをはずし、逃し弁のレバーを上げる。

⑪ 排水栓操作カバーをはずし、排水栓を開く。

※ 排水が終わるまでに15～20分かかります。

⑫ 排水が終わったら、貯湯タンクユニットの水抜き栓（6ヵ所）と非常用取水栓を開く。

（バケツ等で水を受けて処理してください。）

⑬ メンテナンスカバーを止めているネジをはずし、上方へスライドさせツメ（3ヵ所）をはずしカバーを取りはずす。

- 必要以上にスライドさせるとツメ部が破損するおそれがあります。

⑭ 熱交水抜き栓を開き、次にA側およびB側の水抜き栓を開く。

⑮ 空気抜き栓を開き、各水抜き栓からの排水を確認する。

※ 排水が終わるまでに約20分かかります。

⑯ 排水が終わったら、逃し弁のレバーを下げて、すべての栓と操作カバーおよびメンテナンスカバーを元どおり戻す。

非常用取水栓の使い方

●万一の地震などの災害時は、機器内のお湯（水）を生活用水として利用できます。

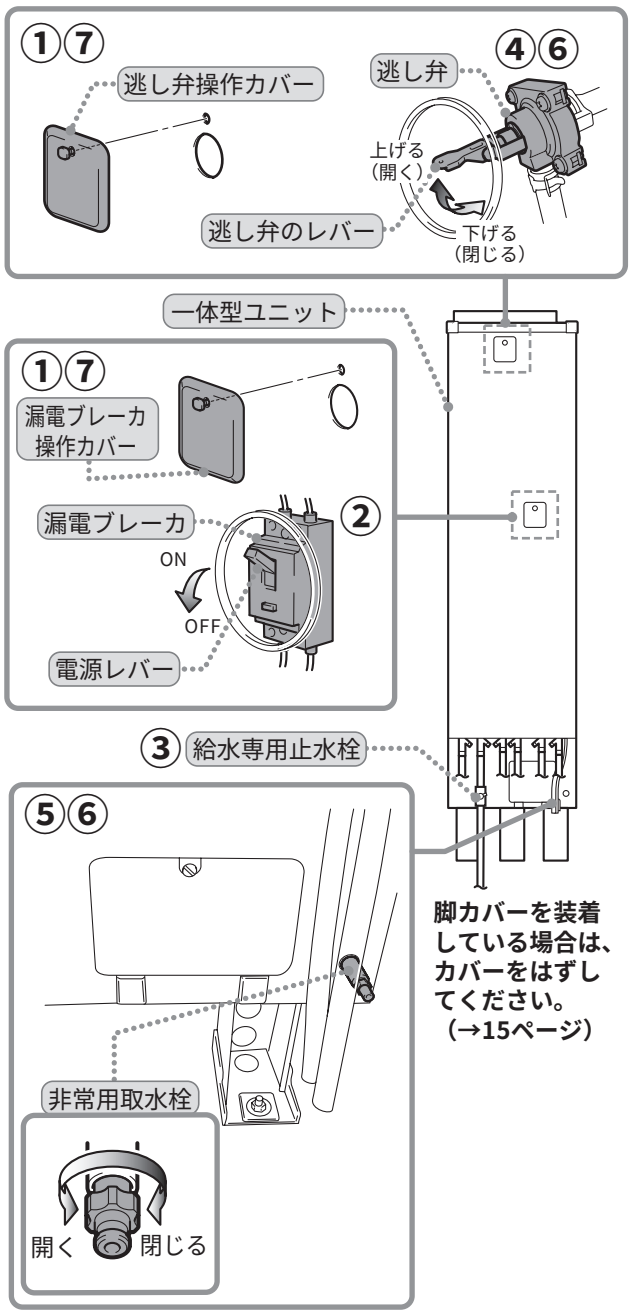
⚠警告

●取水時はお湯に手を触れない。
●機器の内部配管には手を触れない。
やけどすることがあります。
●漏電ブレーカを操作するときは、ぬれた手で行わない。
感電することがあります。

⚠注意

● そのまま飲用に用いない。
長期間のご使用により、機器内に水アカがたまったり、配管材料の劣化により、水質が変わることがあります。

■一体型ユニット



脚カバーを装着している場合は、カバーをはずしてください。
（→15ページ）

※ 準備するもの
容器（やかん、バケツなど）

① 操作カバー（2ヵ所）を取りはずす。

② 漏電ブレーカの電源レバーを「OFF」にする。

③ 給水専用止水栓を閉じる。

④ 逃し弁のレバーを上げる。

⑤ 非常用取水栓を開き、容器に受ける。

⑥ 取水が終わったら、非常用取水栓を閉じ、逃し弁のレバーを下げる。

⑦ 操作カバー（2ヵ所）を元どおり取り付ける。

お願い

●再びご使用になるときは「はじめてご使用になるとき」（→15ページ）の手順の準備作業を行ってください。

停電したときや断水・水道工事が行われるとき

停電したとき

この給湯機は、約4時間以内の停電であればお客様の設定した「時刻」、「運転モード」などの設定は記憶しています。ただし、これ以上の長時間停電が続いた場合、下記設定がお買い上げ時の設定に戻りますので、設定をしなおしてください。

停電が10分以上続いた場合

ふろ自動運転が停止します。

- 停電が10分以上続いた場合、ふろ自動運転は停止します。浴槽の湯が冷めてしまった場合は、浴槽内の湯を全部排水してから、ふろ自動運転を行ってください。
  停電終了後、再度ふろ自動運転を行ってください。
- 短時間の停電であれば、停電終了後、ふろ自動運転を再開します。ただし、設定したふろ湯量・ふろ温度にならない場合があります。

停電が4時間以上続いた場合

時刻がリセットされます。
(「－：－－」点滅表示)

- 停電終了後、時刻を設定してください。

お湯の沸き上げが停止します。

- 時刻がリセットされると、お湯の沸き上げは停止します。
  停電終了後、時刻を正確に設定してください。
- 短時間の停電であれば、停電終了後、お湯の沸き上げを再開します。ただし、長時間停電していた場合、設定した湯量までお湯が沸き上げられないことがあります。

湯はり予約が解除されます。

- 停電終了後、時刻を設定し、再度予約をしてください。

各設定がリセットされます。

- 停電が4時間以上続いた場合、各設定がお買い上げ時の設定に戻ります。
  ご使用の状態に合わせて再度設定してください。
  再設定が必要な機能は、右表を参照してください。

再設定が必要な機能	参照ページ
表示消灯	47ページ
時刻	17ページ
電力契約	18ページ
給湯温度・優先リモコン	25、26ページ
ふろ温度	32ページ
ふろ湯量	33ページ
ふろ保温時間	34ページ
ふろ予約	39ページ
オプション設定 (電話番号登録を除く)	48ページ

断水・水道工事が行われるとき

断水したときや、近くで水道工事が行われるときは、給水専用止水栓を閉じてください。
工事が終了したら、水道用の水栓を開き、水の汚れがなくなったのを確認してから、給水専用止水栓を開いてください。

- 濁った水が機器内のストレーナを目詰まりさせ、湯量が減少したり、お湯が濁る原因になります。
- 断水しているときは、お湯を使用しないでください。エラーを表示する場合があります。

定期点検（有料）

●自然冷媒CO_2ヒートポンプ式給湯機を長くお使いいただくために、3～4年に一度定期点検（有料）を行ってください。

なお、給水用具（逆流防止装置）に関しては、（社）日本水道協会発行の給水用具の維持管理指針に示されている定期点検（有料）の実施をおすすめします。時期は4～6年に1回程度をおすすめします。

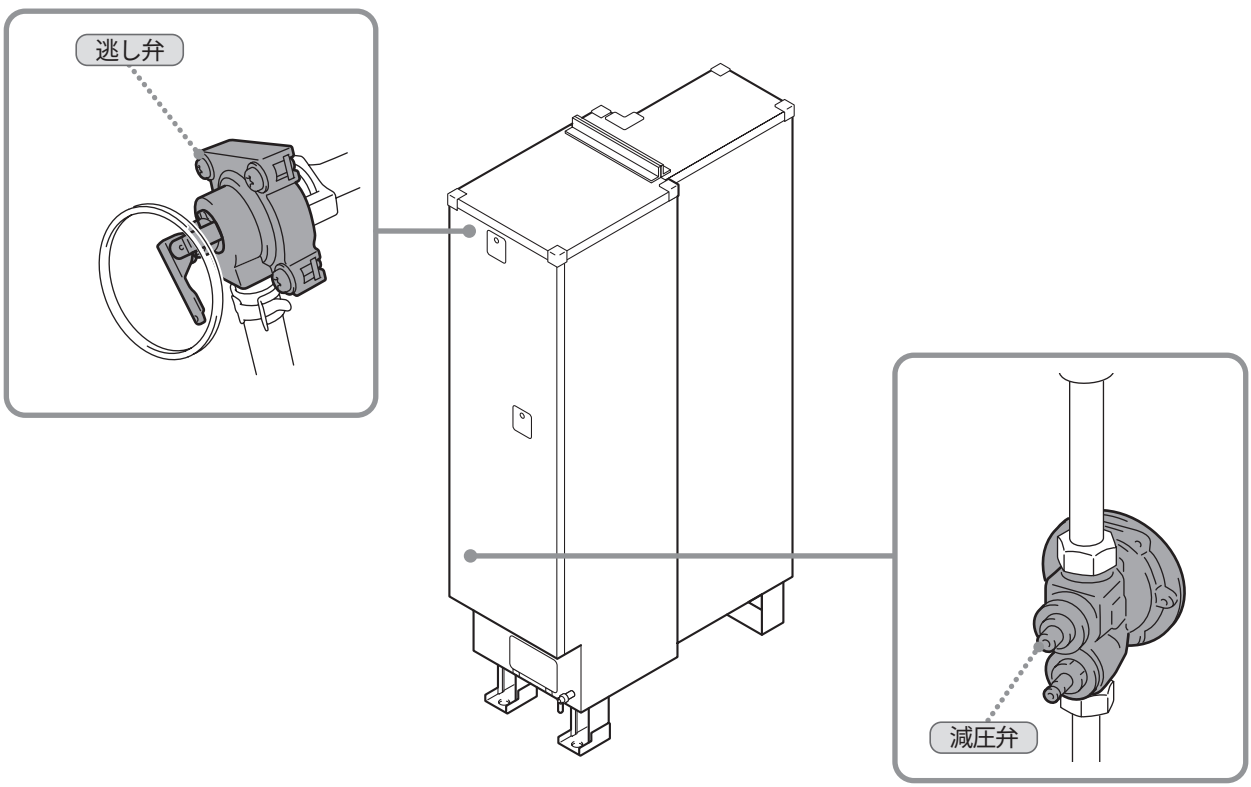
定期点検の主な内容

定期点検については、販売店、工事店または株式会社コロナへご相談ください。
点検の結果、部品交換が必要なものは、有料で交換します。

項　目	内　容
据付け状態	設置面、配管状態、配管その他の保温処置、電気配線などの確認。
機能部品	電気部品（配線、導通、動作の確認）、弁類（逃し弁、減圧弁）などの点検。
清　掃	機器内の清掃。（沈澱物の除去など）

消耗部品の交換

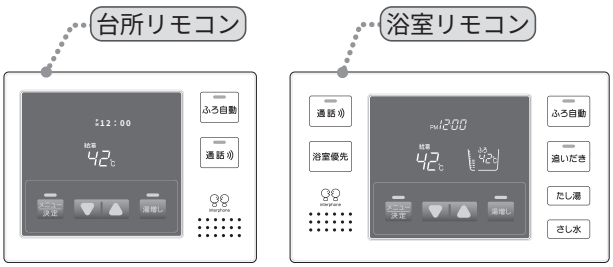
逃し弁、減圧弁は消耗品です。



お手入れと日常点検

日常のお手入れ

リモコンのお手入れ



●リモコンの表面が汚れたときは、水にぬらした柔らかい布をかたく絞って、軽く拭き取ってください。

お願い

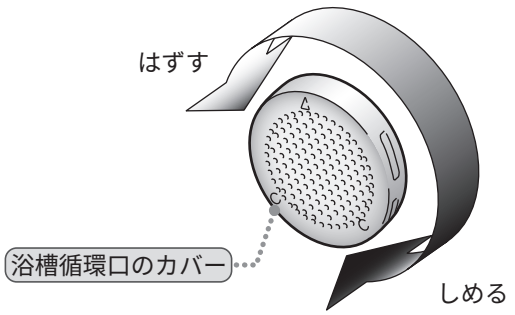
●リモコン内部には電気部品が入っていますので、水をかけないようにしてください。
●洗剤およびベンジン・シンナー等は使用しないでください。

時刻の確認

●時刻がずれていると電気料金が高くなってしまいますので、1ヵ月に1回程度確認を行ってください。ずれている場合は、台所リモコンで時刻を合わせなおしてください。(→17ページ)

1週間に1回程度のお手入れ

浴槽循環口のお手入れ



●浴槽循環口のカバーは、取りはずして歯ブラシなどでフィルター部のゴミや湯アカ等の汚れを落としてください。

お願い

●取り付けがゆるいと、運転中にはずれ故障の原因になります。確実に元どおり取り付けてください。

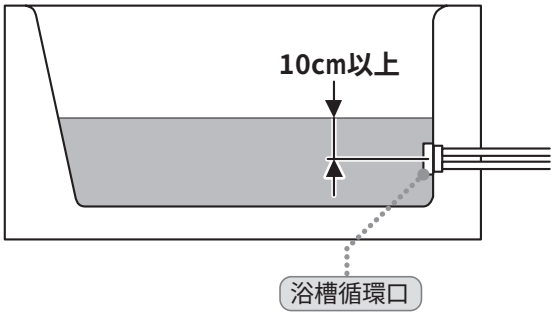
お知らせ

・浴槽循環口の形状は、メーカによって若干異なります。

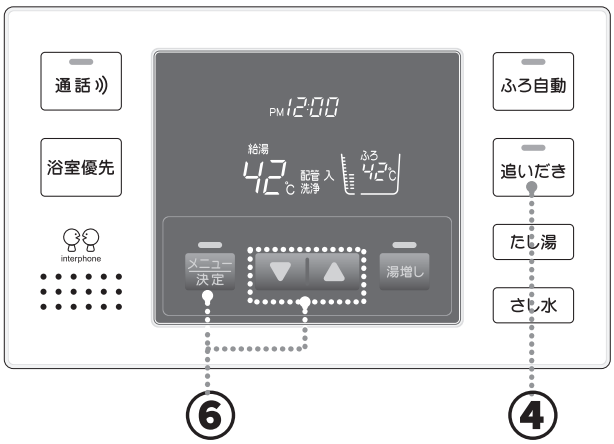
お手入れと日常点検

1年に2～3回程度のお手入れ

ふろ配管のお手入れ



■浴室リモコン



お願い

●正しい手順で最後まで作業を行ってください。作業を途中でやめると次回の湯はりのときに洗浄剤の混じったお湯が注湯されます。

お知らせ

- **ふろ配管に水（お湯）を循環させる際に、追いだき機能を使用するため、浴槽の湯温はあがり、貯湯量は減ります。**
- **洗浄剤は、市販のジョンソン株式会社製「ジャバ（1つ穴用）」もご使用いただけます。**

①前日に運転モードを「多め」として、貯湯量を確保する。

●「運転モードの設定」を参照してください。（→22ページ）

②入浴後、浴槽の湯を排水させず残しておく。

●このとき残り湯が浴槽循環口中心より10cm以上あることを確認してください。

③ 洗浄剤を入れる。

●洗浄剤は株式会社コロナ製「クリーンエース」（UKB-53）をお使いください。お求めは、0120-917-567（365日24時間受付け）の窓口にご連絡ください。

●使用量などの取扱いについては、洗浄剤付属の説明書に従ってください。

④ 追いだき を押す。

●「追いだきをします」と音声でお知らせし、追いだきランプが点灯し、湯量表示バーが点滅します。
追いだきが完了すると、追いだきランプと湯量表示バーの点滅が消灯します。

お知らせ

・残り湯の温度が低い場合や、貯湯量が少ない場合は、追いだきできない事があります。
詳しくは、「浴槽の湯温をあげる（追いだき）」を参照してください。（→35ページ）

⑤ 浴槽の水（お湯）を排水する。

⑥ 配管洗浄をする。（2回行ってください。）

（1） メニュー 決定 を4回押す。
「配管洗浄 切」が点滅します。

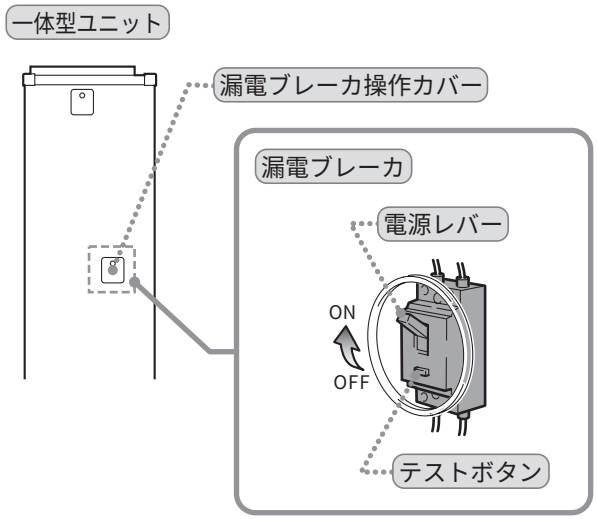
（2） ▼ または ▲ を押して、「入」を選択し、メニュー 決定 を押す。
「配管洗浄をします」と音声でお知らせするとともに、約15Lの水で配管洗浄を行います。

（3）配管洗浄が完了すると「配管洗浄 入」が消灯します。

お手入れと日常点検

1年に2〜3回程度のお手入れ

漏電ブレーカの動作確認



⚠警告

●漏電ブレーカの動作を確認する。
故障のまま使用すると、感電することがあります。
●漏電ブレーカ操作するときは、ぬれた手で行わない。
感電することがあります。

⚠注意

●動作確認後、漏電ブレーカ操作カバーを閉じる。
開けておくと雨水やゴミが入り、漏電や感電することがあります。

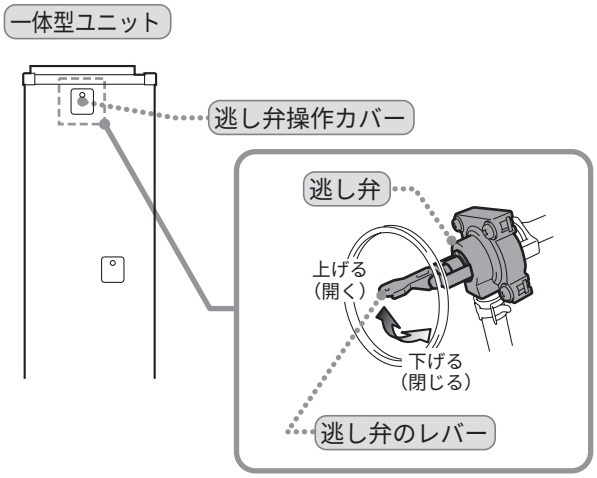
① 動作を確認する。

- AC200V電源供給中に、漏電ブレーカのテストボタンを押してください。
- 電源レバーが「ON」から「OFF」になれば正常です。

② 電源を「ON」に戻す。

- 点検終了後、電源レバーを「ON」に戻してください。

逃し弁の点検



⚠警告

●逃し弁点検時は内部の配管に手を触れない。
やけどをすることがあります。

⚠注意

●逃し弁の点検をする。
点検しないと機器や配管が破裂したり、逃し弁から水漏れしたりすることがあります。
●点検後、逃し弁操作カバーを閉じる。
開けておくと雨水やゴミが入り、漏電や感電することがあります。

① 動作を確認する。

- 逃し弁のレバーを2〜3回上下に動かしてください。
- 上げたときのみ、排水口から水（お湯）が出れば正常です。

② 逃し弁のレバーを戻す。

- 点検終了後、逃し弁のレバーを下げてください。

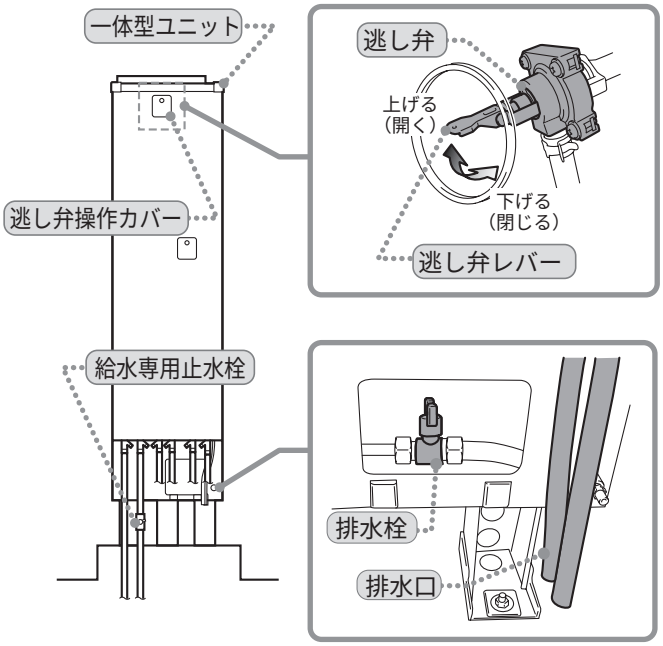
お手入れと日常点検

1年に2～3回程度のお手入れ

一体型ユニットのお手入れ

⚠警告

● **排水時にはお湯に手を触れない。**
やけどをすることがあります。



① 排水する。

（1）給水専用止水栓を閉じ、逃し弁操作カバーを取りはずしてください。
（2）逃し弁のレバーを上げてください。
（3）排水栓を開いてください。
（4）機器の水（お湯）を1～2分間排水し、汚れがなくなったら排水栓を閉じてください。

② 満水にする。

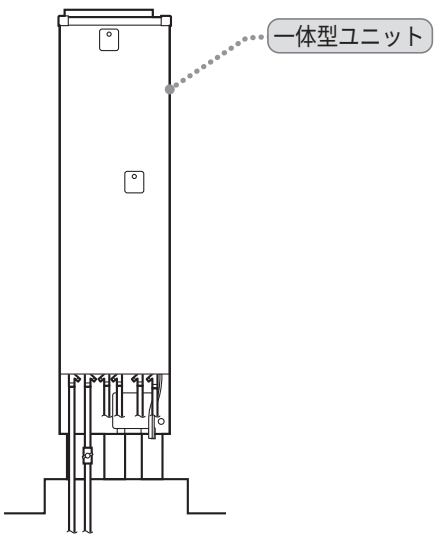
（5）給水専用止水栓を開き、一体型ユニットが満水になるまで給水してください。
●排水口から水（お湯）が出てきたら満水です。
（6）満水になったら、逃し弁のレバーを下げ、逃し弁操作カバーを元どおりに取り付けてください。

③ エア抜きをする。

（7）各湯水混合栓をお湯側にして開いてください。
●エアが抜けたら閉じてください。水側も同様に行ってください。

1年に1回程度のお手入れ

一体型ユニットのお手入れ



① 機器内の水をすべて排水する。

（1）「長期間お湯を使用しないとき」を参照してください。（→57ページ）

② 機器に水を流し、清掃する。

（2）水の濁りがなくなるまで、給水・排水を繰り返してください。
（→15、57ページ）

③ 機器内を満水にする。

（3）「はじめてご使用になるとき」を参照してください。（→15ページ）

故障かなと思ったら

よくあるご質問（こんな時は故障ではありません）

Q 深夜以外の時間帯に運転する。

A 湯切れしないように貯湯タンク内のお湯の量に合わせて自動で「湯増し」を行います。

Q 機器の下部から水が出る。

A 沸き上げ運転中および沸き上げ停止後しばらくの間は、大気から熱を吸収するときに結露した水が出ます。また、気温が低いときは、熱交換器を除霜したときの溶けた水がでます。

Q 運転／停止を繰り返す。

A 気温が低いときは、熱交換器の除霜のためファンの運転／停止を繰り返します。また、ヒートポンプ配管およびヒートポンプ内配管の凍結防止のため、運転／停止を繰り返します。

Q 沸き上げ運転中、熱交換器が霜で白くなる。

A 冬期運転中は熱交換器に霜がつくことがあります。

Q 深夜時間帯に機器が動いていない。

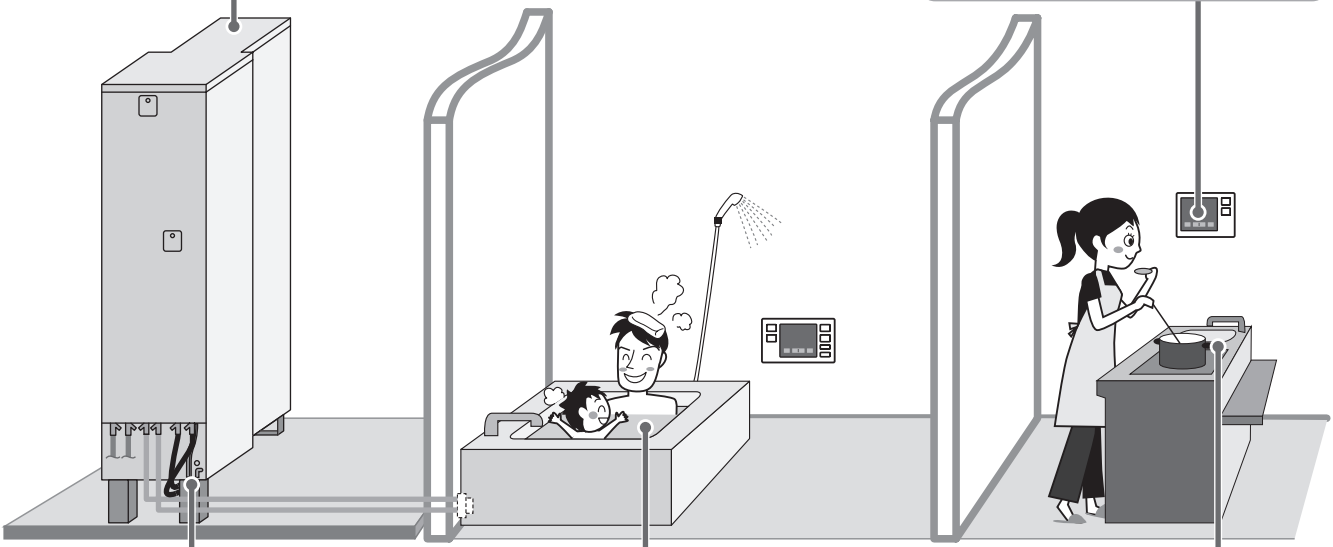
A 運転開始時刻は、今までの使用湯量を考慮して自動制御しています。（早く沸かしすぎて冷めないように制御しています。）

Q 夜間の運転音が大きい。

A 湯切れしないように「湯増し」などで急速にお湯を沸き上げるときは運転音が大きくなる場合があります。(故障ではありません。)

Q リモコンの時刻表示が「- - : - -」で点滅している。

A 停電が原因です。時刻を合わせてください。



Q 排水口からお湯が出ている。

A 沸き上げ運転時は、機器内の水の温度が上昇し膨張します。この膨張分が逃し弁から排水されます。

Q お湯が出ない。

A どの蛇口からもお湯が出なければ凍結の可能性があります。お買い上げの販売店にご相談ください。(「冬期の凍結防止について」51ページを参照してください。)

Q 浴槽循環口からボコボコ音がする。

A 気温が低いとき、ふろ配管の凍結予防のため、浴槽の残り湯をポンプで循環させます。特に残り湯がない場合や残り湯の水面が浴槽循環口付近の場合は、ボコボコ音が出ます。(「冬期の凍結防止について」52ページを参照してください。)

Q 浴槽や洗面器具に青いすじがつく。

A 水中に含まれる銅イオンと、石けんなどに含まれる脂肪酸が反応してできた青色の銅石けんが付着したものです。処置の方法は、69ページを参照してください。

Q ふろ専用の洗浄剤は使えますか？

A 洗浄剤の利用は可能です。洗浄方法は、63ページを参照してください。

Q お湯から油が出る、お湯がくさい。

A はじめて使用するときは、配管工事のときの油やにおいがお湯に混ざって出る場合がありますが、しばらくすると消えます。

Q お湯が白くにごって見える。

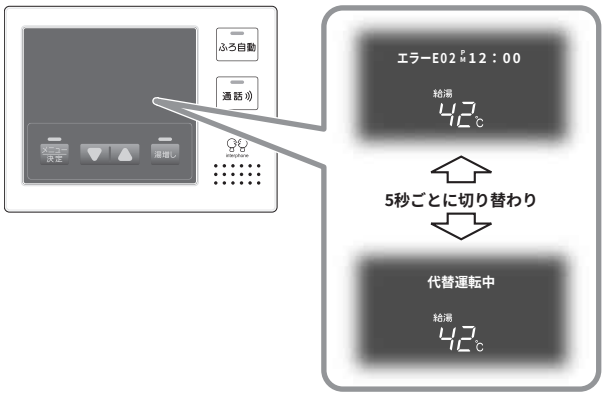
A 水に溶け込んでいた空気が、蛇口を開けたときに細かい泡となって出てくる現象です。

故障かなと思ったら

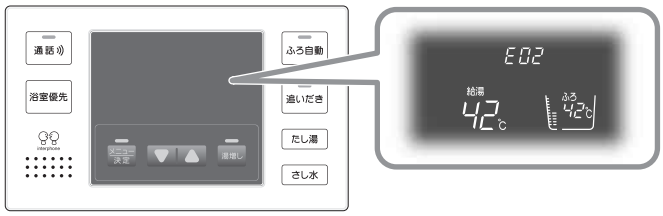
エラー表示

機器に異常が発生したとき、リモコンに次のように表示し、警告音が鳴って異常をお知らせします。
（台所リモコンは約5秒ごとに表示が切り替わります。）

■台所リモコン



■浴室リモコン



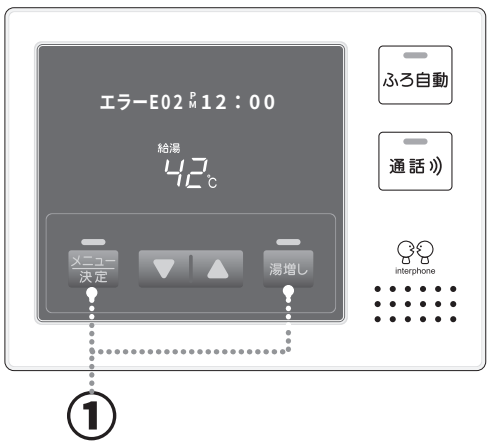
●「エラー＊＊＊TEL＊＊＊」や「エラー＊＊＊修理必要」と表示されたときは、機器は停止しています。
●「代替運転中」や「湯はり停止中」などと表示されたときは、機器は作動しています。
（一部機能が使えない場合があります。）

表　示	原　因	処　置
E01～E48	貯湯タンクユニット関係の故障	エラー表示を解除して、再度運転を開始してください。再度エラーコードを表示する場合は、使用を中止してエラー表示内容を控えていただき、お買い上げの販売店（工事店）に点検・修理をご依頼ください。
H03～H31	ヒートポンプユニット関係の故障	

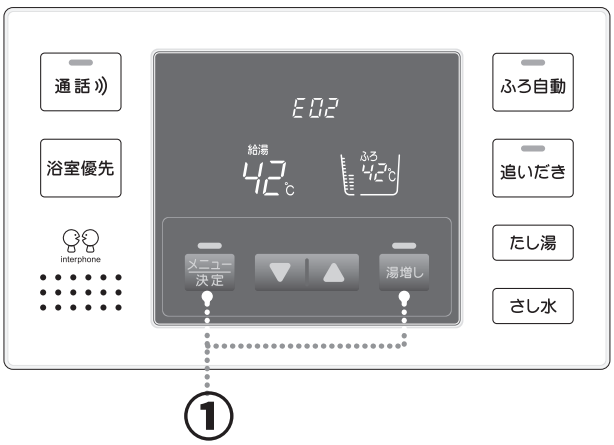
（断水、凍結でE14を表示することがあります。断水が解消したら、エラー表示を解除して再度運転を開始してください。）

エラー表示を解除するとき

■台所リモコン



■浴室リモコン



① メニュー決定 と 湯増し を同時に5秒以上押す。

● エラー表示が消え、通常表示に戻ります。

故障かなと思ったら

エラー表示がない場合

症　状	調べるところ・原因	処　置
リモコンの表示部が点灯しない（電源が入らない）	・AC200V電源ブレーカが「OFF」になっている	電源ブレーカを「ON」にしてください。
	・漏電ブレーカの電源レバーが「OFF」になっている	漏電ブレーカを「ON」にしてください。 再度「OFF」になる場合は、そのままお買い上げの販売店（工事店）に点検・修理をご依頼ください。
	・停電している	停電が終わるまで待ってください。
リモコンの表示が消えている	・表示が自動消灯モードになっている	どれかスイッチを押すと表示が点灯します。 常時点灯させるには、自動消灯設定を「なし」にしてください。（→47ページ）
リモコンの表示が暗い	・リモコンの輝度設定が「暗」になっている	リモコンの輝度設定を「明」にしてください。 （→48、50ページ）
音声案内をしない 音声案内が小さい	・リモコン音量が「なし」や「小」になっている	リモコン音量を「中」「大」などに設定してください。 （→48、50ページ）
リモコンの操作音が出ない	・リモコン操作音の設定が「なし」になっている	リモコン操作音設定を「あり」にしてください。 （→48、50ページ）
ふろ自動ができない	・タンク空表示が点滅している	湯増しを行って、湯量を確保してから行ってください。（→23ページ）
	・湯量表示バー2本が点滅している	ふろ自動に必要な貯湯量がないため、ふろ自動を一時停止し自動湯増しを行います。必要な貯湯量が確保されるとふろ自動を再開します。
ふろ保温をしない	・運転モードが、「控えめ」になっている	省エネモードの「控えめ」は、自動保温・自動たし湯を行いません。運転モードを変更してください。 （→19、22ページ）
	・ふろ保温時間が「0h」になっている	ふろ保温時間を「0h」以外に設定してください。
ふろ保温が途中で止まる	・貯湯タンク内のお湯が少ない	ふろ自動に必要な貯湯量がないため、ふろ自動を一時停止し自動湯増しを行います。必要な貯湯量が確保されるとふろ自動を再開します。
給湯温度が変更できない	・リモコンに優先権がない	浴室リモコンの浴室優先スイッチを押してから、給湯温度を変更してください。（→26ページ）
お湯が出ない お湯の出が悪い	・給水専用止水栓が閉じている	給水専用止水栓を開いてください。
	・断水している／給水圧が低い	水道局へ問い合わせてください。
	・機器内のストレーナにゴミがつまっている	お買い上げの販売店（工事店）に点検・修理をご依頼ください。
	・配管が凍結している	お買い上げの販売店（工事店）に点検・修理をご依頼ください。
	・停電している	停電が終わるまで待ってください。
お湯がぬるい お湯がたりない	・時計表示が点滅している	時刻設定をしてください。（→17ページ）
	・台所リモコンに「＊日後に帰宅」が表示している	休止設定で、お湯の沸き上げ停止（休止設定）を取消してください。（→56ページ）
	・台所リモコンに「エコ停止中Eco」、 ・浴槽リモコンに「Eco」が表示している	エコ停止設定を取消してください。（→53ページ）
	・沸き上げ運転時以外でも、排水口から冷めたお湯（水）がでている	逃し弁の点検をしてください。（→64ページ） 止まらない場合は、お買い上げの販売店（工事店）に点検・修理をご依頼ください。
	・いつもに比べてお湯をたくさん使用した	湯増しを行ってください。（→23ページ）

故障かなと思ったら

エラー表示がない場合

症　状	調べるところ・原因	処　置
浴槽のお湯があつい	・ふろ温度の設定が高い	ふろ温度の設定を低くしてください。(→32ページ) またはさし水を使用してください。(→38ページ)
	・追いだき中	追いだきを中止してください。(→35ページ) 浴槽循環口から離れてください。
浴槽のお湯がぬるい	・ふろ温度の設定が低い	ふろ温度の設定を高くしてください。(→32ページ) または追いだきを使用してください。(→35ページ)
浴槽のお湯が少ない	・ふろ湯量の設定が少ない	ふろ湯量の設定を多くしてください。(→33ページ) またはたし湯をしてください。(→37ページ)
浴槽のお湯が多い	・ふろ湯量の設定が多い	ふろ湯量の設定を少なくしてください。(→33ページ) または排水してください。
	・浴槽に残り湯がある状態で湯はりをした	残り湯を排水してから湯はりをするようにしてください。
追いだきができない	・タンク空表示が点滅している	湯増しを行って、湯量を確保してから使用してください。(→23ページ)
	・ふろ温度表示が点滅している	追いだきに必要な貯湯量がないため、追いだきを一時停止し自動湯増しを行います。必要な貯湯量が確保されると追いだきを再開します。
	・湯はり中、たし湯中、さし水中、配管洗浄中	湯はり等動作が完了してから使用してください。
お湯を使用していないのに、タンク空表示が出る	・貯湯タンク内のお湯の温度が低下した	お湯を使用していなくても、貯湯タンク内の湯温が低下するとタンク空表示が出ることがあります。
浴槽や洗面器具に青いすじがつく	・水中に含まれる銅イオンと、石けんなどに含まれる脂肪酸が反応してできた青色の銅石けんが付着したものです。人体には害はありません。	浴槽用洗剤をスポンジなどにつけてこすり、洗い流してください。 こまめに掃除することで付きにくくなります。 汚れが落ちない場合は、アルカリ系洗剤等をご使用ください。

仕様

[システム]

型式名		CUF-SX18M91 （貯湯タンクユニット：CFT-SX18M91 ヒートポンプユニット：CFH-SX750A）
仕向地		次世代省エネ基準III地域以南　※1
適用電力制度		時間帯別電灯型、季節別時間帯別電灯型（通電制御対応）※10
種類		屋外型
定格電圧		単相　AC200V　50／60Hz
年間給湯効率　※2		3.4
中間期COP		4.7
ヒートポンプ	中間期加熱能力／消費電力　※4 ※5	4.5kW／0.967kW
	夏期加熱能力／消費電力　※4 ※6	4.5kW／0.910kW
	冬期高温加熱能力／消費電力　※3 ※4 ※7	4.5kW／1.500kW
	最大加熱能力	10kW
	最大消費電力　※8	3.3kW
最大電流		19A
消費電力	ふろ保温	80／105W（50／60Hz）：ふろポンプ
	制御用	12W(リモコン消灯時5W)
運転音　※9		40dB
冷媒名（封入量）		CO_2（0.950kg）
タンク容量		185L
最大使用圧力		190kPa（減圧弁設定圧：170kPa）
外形寸法（高さ×幅×奥行）		1,890mm×1,035mm×450mm （メンテナンスカバー部　幅+82mm）
質量（製品質量／満水時質量）		約127kg／約312kg
沸き上げ温度		約65～90℃
貯湯機能		控えめ・中・多め（3モード）／湯増し
ふろ給湯機能		自動湯はり、自動保温、自動たし湯、追いだき／高温さし湯、たし湯、さし水

※1 次世代省エネ基準III地域：主に宮城、山形、福島、栃木、新潟、長野県の一部など

※2 年間給湯効率は(社)日本冷凍空調工業会の規格であるJRA4050：2007Rに基づき、消費者の使用実態を考慮に入れた給湯効率を示すために、1年を通して、ある一定の条件※のもとにヒートポンプ給湯機を運転したときの単位消費電力量あたりの給湯熱量を表したものです。なお値は、省エネモードである［控えめ］で測定した値であり、実際には地域条件・運転モードの設定やご使用条件等により変わります。

※一定の条件とは、東京・大阪を平均した気象条件・給水温度で42℃のお湯を1日に425L使用する条件等を想定したものです。

年間給湯効率＝1年で使用する給湯に係る熱量÷1年間で必要な消費電力量

※3 低外気温時は、加熱能力が低下することがあります。

※4 沸き上げ終了直前では加熱能力が低下する場合があります。

※5 作動条件：外気温（乾球温度／湿球温度）16℃／12℃、水温17℃、沸き上げ温度65℃

※6 作動条件：外気温（乾球温度／湿球温度）25℃／21℃、水温24℃、沸き上げ温度65℃

※7 作動条件：外気温（乾球温度／湿球温度）7℃／6℃、水温9℃、沸き上げ温度90℃

※8 作動条件：外気温-5℃、水温4℃、沸き上げ温度90℃

※9 中間期条件下での測定（JISのルームエアコンディショナに準じ測定）

※10 販売店または電力会社にご相談ください。

保証とアフターサービス

● 故障、修理については、お買い上げの販売店、工事店又は、株式会社コロナにご連絡ください。当社又は、当社指定の取扱販売店以外で点検、修理した場合の故障及び損傷は、保証期間内でも有料修理となります。
工事説明書に記載されていない方法や指定部品を用いないで施工され、事故や故障が生じた場合は、責任を負いかねますので、必ず当社指定部品をご使用ください。

保証について

保証書は、貯湯タンクユニットに添付されています。「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りになり、大切に保管してください。
保証期間はお買上げいただいた日から2年間です。
ただし、コンプレッサー、熱交換器は3年間、缶体は5年間です。
※保証期間経過後の修理、補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の保有期間は製造打切り後10年です。
次のような原因による故障及び、事故につきましては、保証の対象になりませんのでご注意ください。
（詳しくは保証書をお読みください。）

● 誤った使用方法による故障や事故。
● 一般家庭用以外（例えば、業務用の長時間使用、車輌、船舶への搭載）に使用された場合の故障及び損傷。
● 水道水以外をご使用になったことに起因する不具合。（温泉水・井戸水は使用不可）
水道水を使用しないと、故障や水漏れの原因になります。
● 凍結による故障・破損。
● 当製品の工事説明書に基づかない施工や、専門業者以外による移動・分解等に起因する故障や不具合。

修理を依頼されるとき

本書の「故障かなと思ったら」（66〜69ページ）にしたがって調べてもよくならないときは、お買い上げの販売店、または 0120-917-567（365日24時間受付け）の窓口にご連絡ください。

● 保証期間中であれば、保証書の規定に従って無料修理させていただきます。

保証期間がすぎているときは・・・

お買い上げの販売店にご相談ください。

● 修理によって使用できる製品については、お客様のご要望により有料修理いたします。

MEMO

MEMO

MEMO

株式会社コロナ

〒955-8510　新潟県三条市東新保7-7　TEL(0256)32-2111(大代表)

●アフターサービスなどのお問い合わせは　0120-917-567（365日24時間受付け）

148017-7730[2009.06]
225WA2538-00